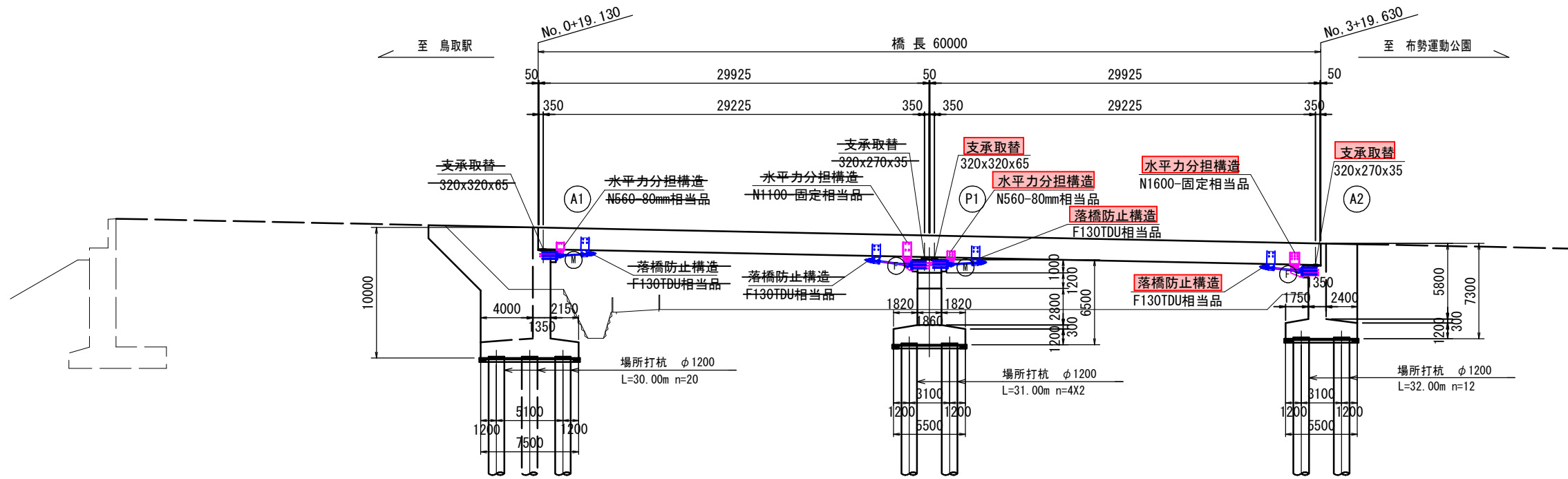
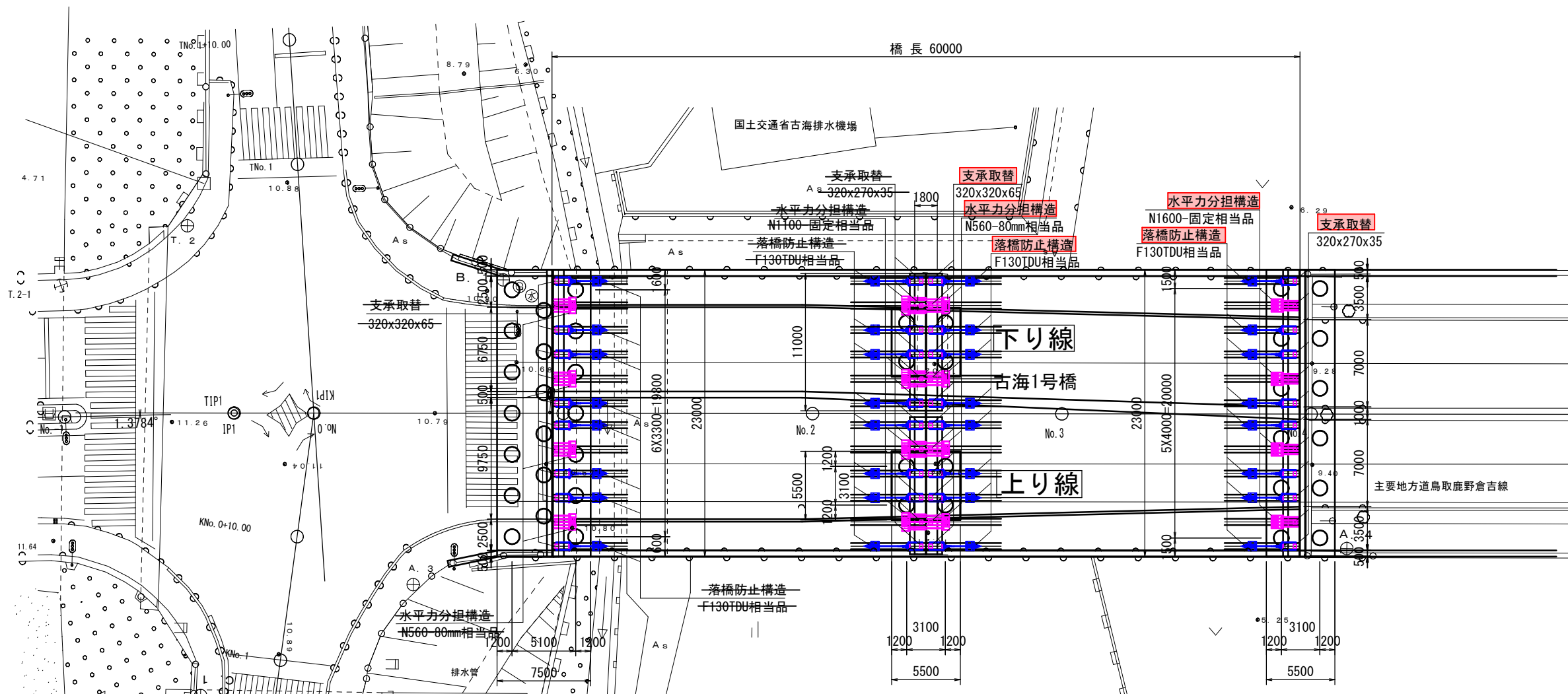


古海1号橋 耐震補強一般図

側面図 S=1/200



平面図 S=1/200

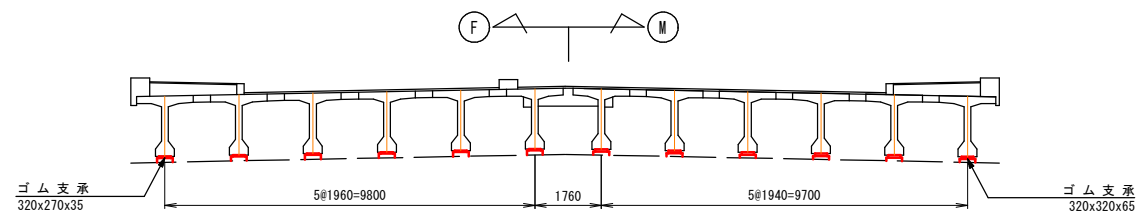


(R6) 国補正 (公共) 実施設計

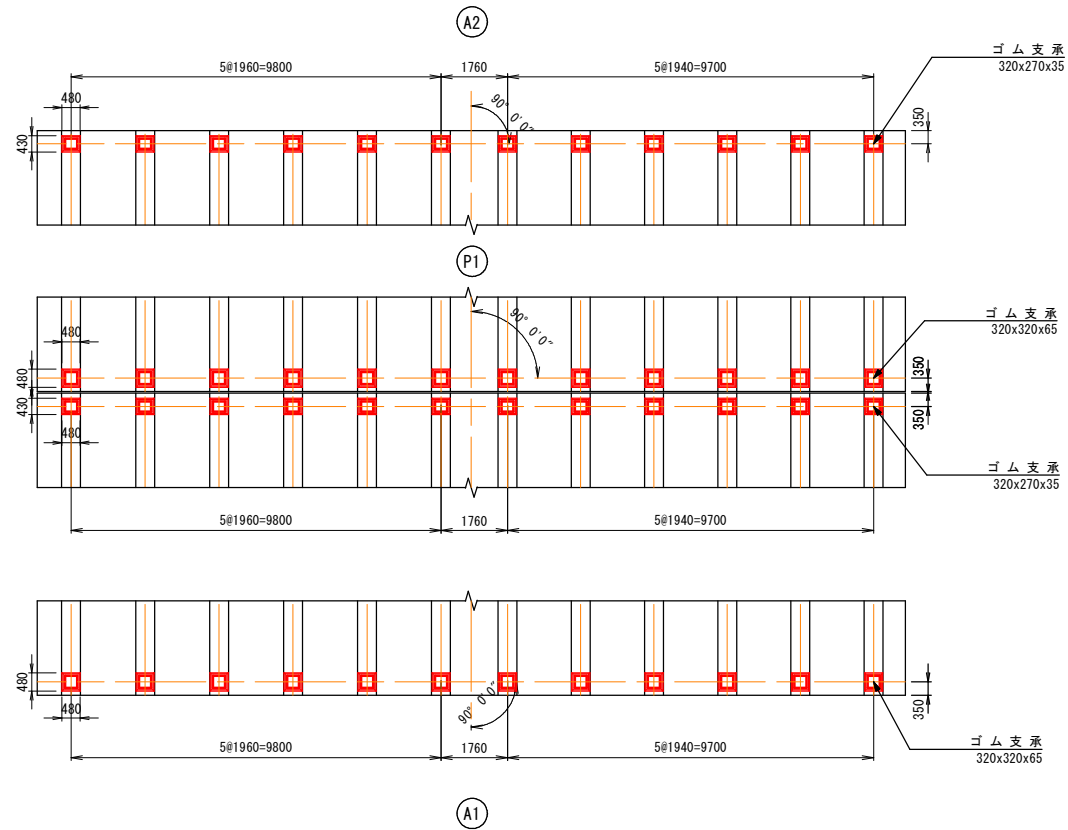
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	1
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

古海1号橋 支承取替詳細図 (その1)

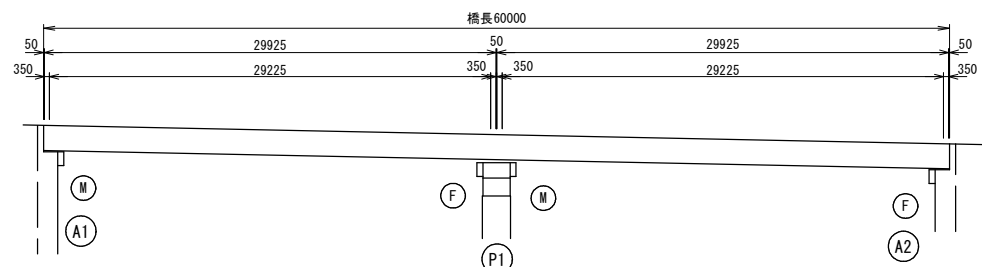
断面図 S=1:100



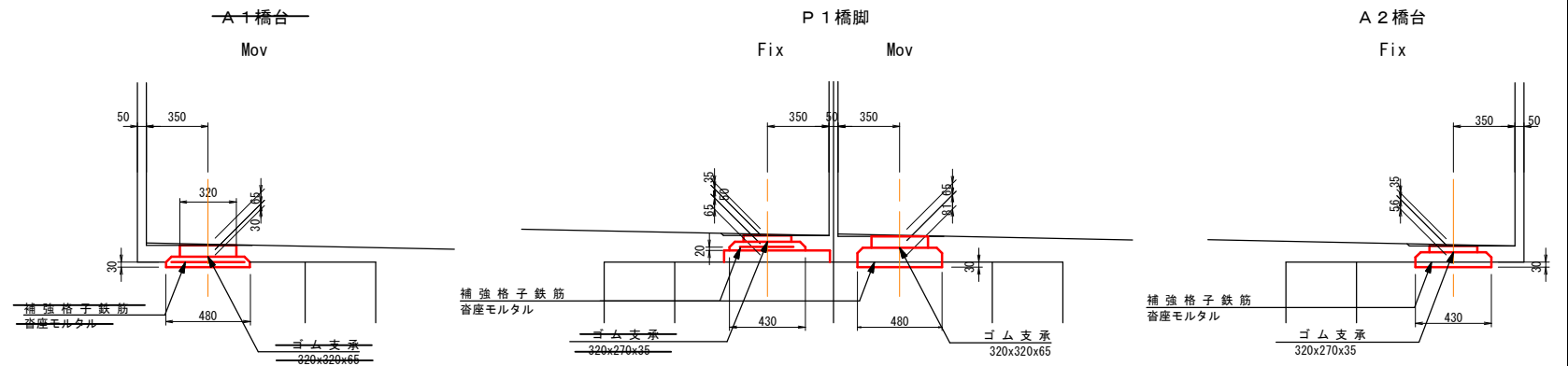
平面図 S=1:100



位置図



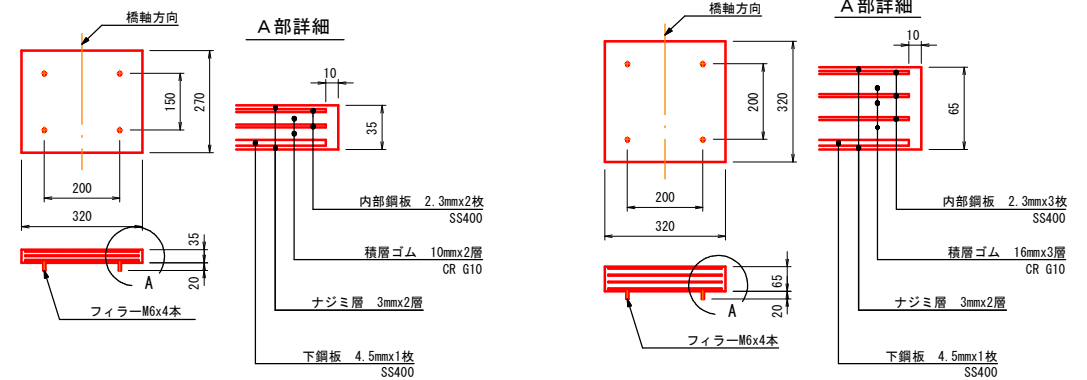
側面図 S=1:20



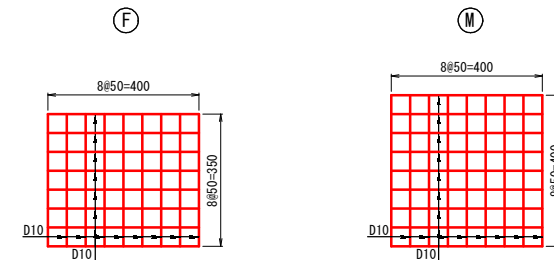
ゴム支承 S=1:10

固定支承

可動支承



補強格子鉄筋 S=1:10



- 注記)
1. 着工前調査において、ジャッキスペースの確認を行うこと。
 2. ジャッキと既設支承との距離を十分に確保すること。
 3. 上部工をジャッキアップする際には、添架管の破損に注意すること。
 4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

材料表

名称	寸法	材質	単位	A1	P1L	P1R	A2	合計	備考
ゴム支承	320x320x65	図示	枚	12		12		12	DSF相当品 (CR G=10)
ゴム支承	320x270x35	図示	枚		12		12	12	DSF相当品 (CR G=10)
フラットジャッキ	φ300		組	12	12	12	12	24	FJ-80相当品
補強格子鉄筋	350x350	SD295	kg	48.4	42.7	48.4	42.7	91.1	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.156	0.114	0.297	0.204	0.501	

注) 部材寸法及び設置位置等は、現地測量のうえ決定すること。

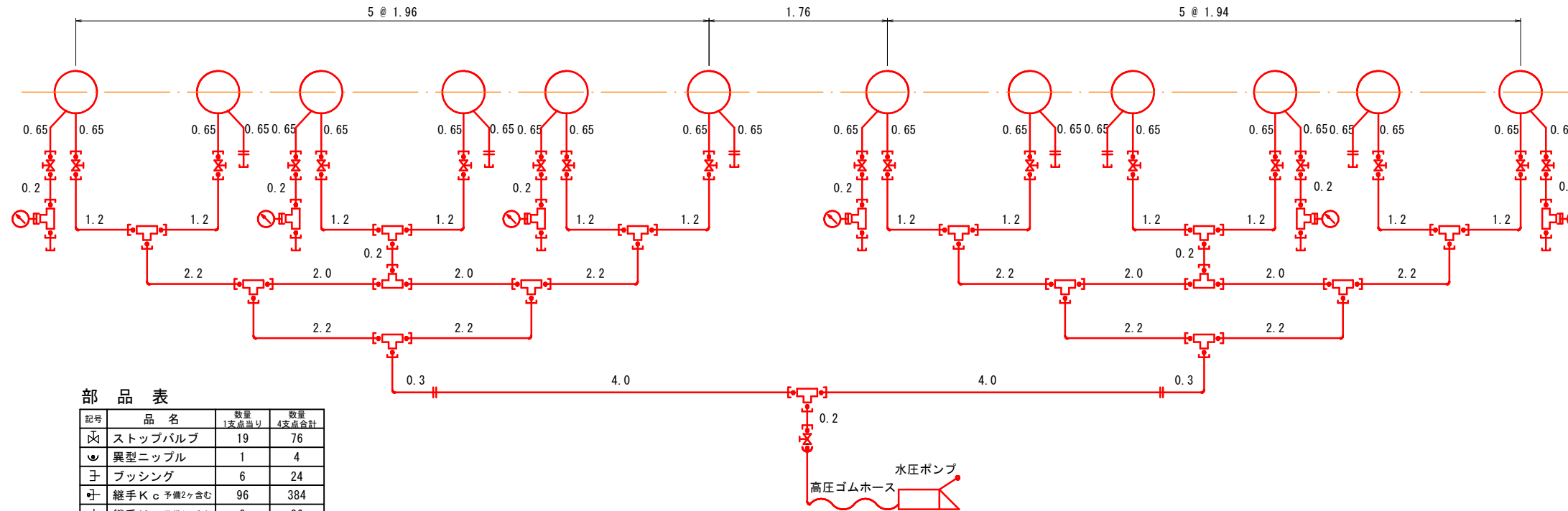
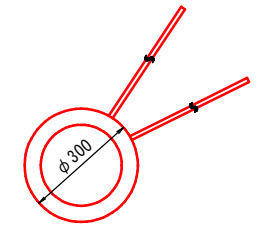
R6 国補正
公共 実施設計

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 支承取替詳細図 (その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	2
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

古海1号橋 支承取替詳細図 (その2)

12台連動配管図

フラットジャッキ S=1:10
FJ-80相当品



部品表

記号	品名	数量 1地点当り	数量 4地点合計
⊠	ストップバルブ	19	76
⊕	異型ニップル	1	4
⊚	フッシング	6	24
⊕	継手Kc 予備2ヶ含む	96	384
⊕	継手Ku 予備1ヶ含む	9	36
⊚	ストッパー	12	48
⊕	テー	21	84
	部品組立	164	656
—	スケジュール管	66	264

リース品

記号	品名	数量
⊠	水圧ポンプ	1
~	高圧ホース	1
⊙	普通圧力計	6

スケジュール管

- ・ 0.2 m × 9ヶ所 = 1.8m
 - ・ 0.65 m × 24ヶ所 = 15.6m
 - ・ 1.2 m × 12ヶ所 = 14.4m
 - ・ 2.0 m × 4ヶ所 = 8.0m
 - ・ 2.2 m × 8ヶ所 = 17.6m
 - ・ 4.0 m × 2ヶ所 = 8.0m
- 65.4 ≒ 66m

支承取替手順フロー

1. 準備工
2. ジャッキ設置工
3. ジャッキアップ工
4. はつり・旧支承撤去工
5. 新支承設置工
6. 無収縮モルタル打設
7. ジャッキダウン
8. 完成

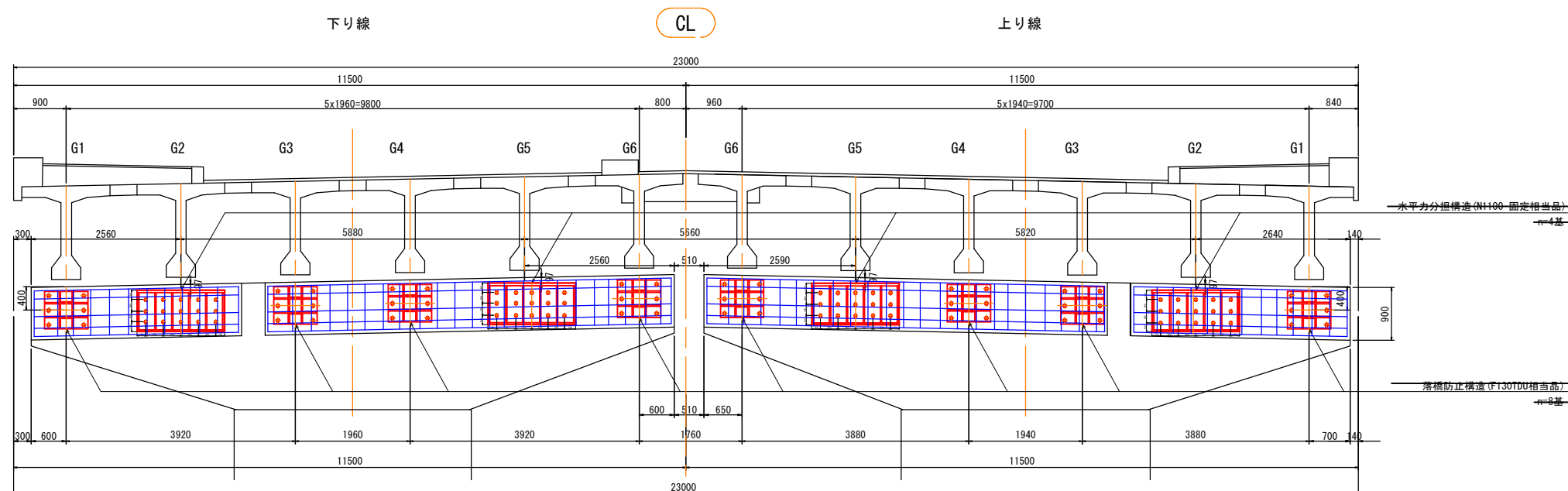
- 注記)
1. 着工前調査において、ジャッキスペースの確認を行うこと。
 2. ジャッキと既設支承との距離を十分に確保すること。
 3. 上部工をジャッキアップする際には、添架管の破損に注意すること。
 4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
	県道鳥取野倉吉線(古海1号橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋補修)(国補正)		
図名	古海1号橋 支承取替詳細図(その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	3
令和 6 年度施行			鳥取県
	鳥取県土整備事務所		

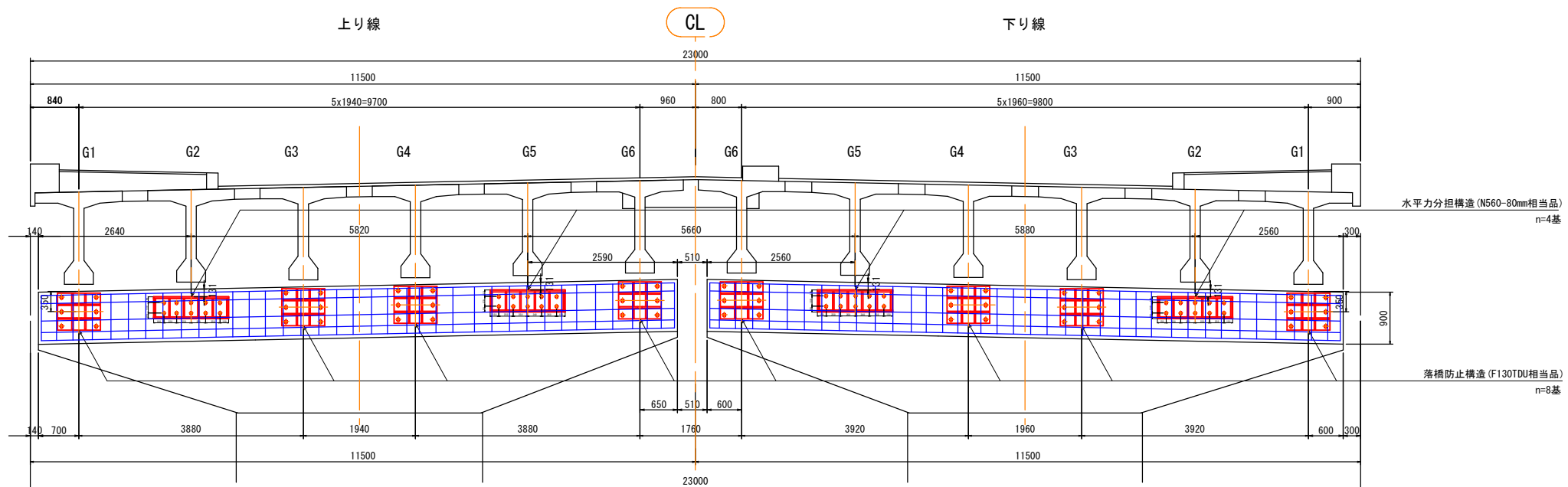
R6 国補正
公共 実施設計

P1橋脚:取付図

—P1橋脚 (起点側) 正面図—



P1橋脚 (終点側) 正面図



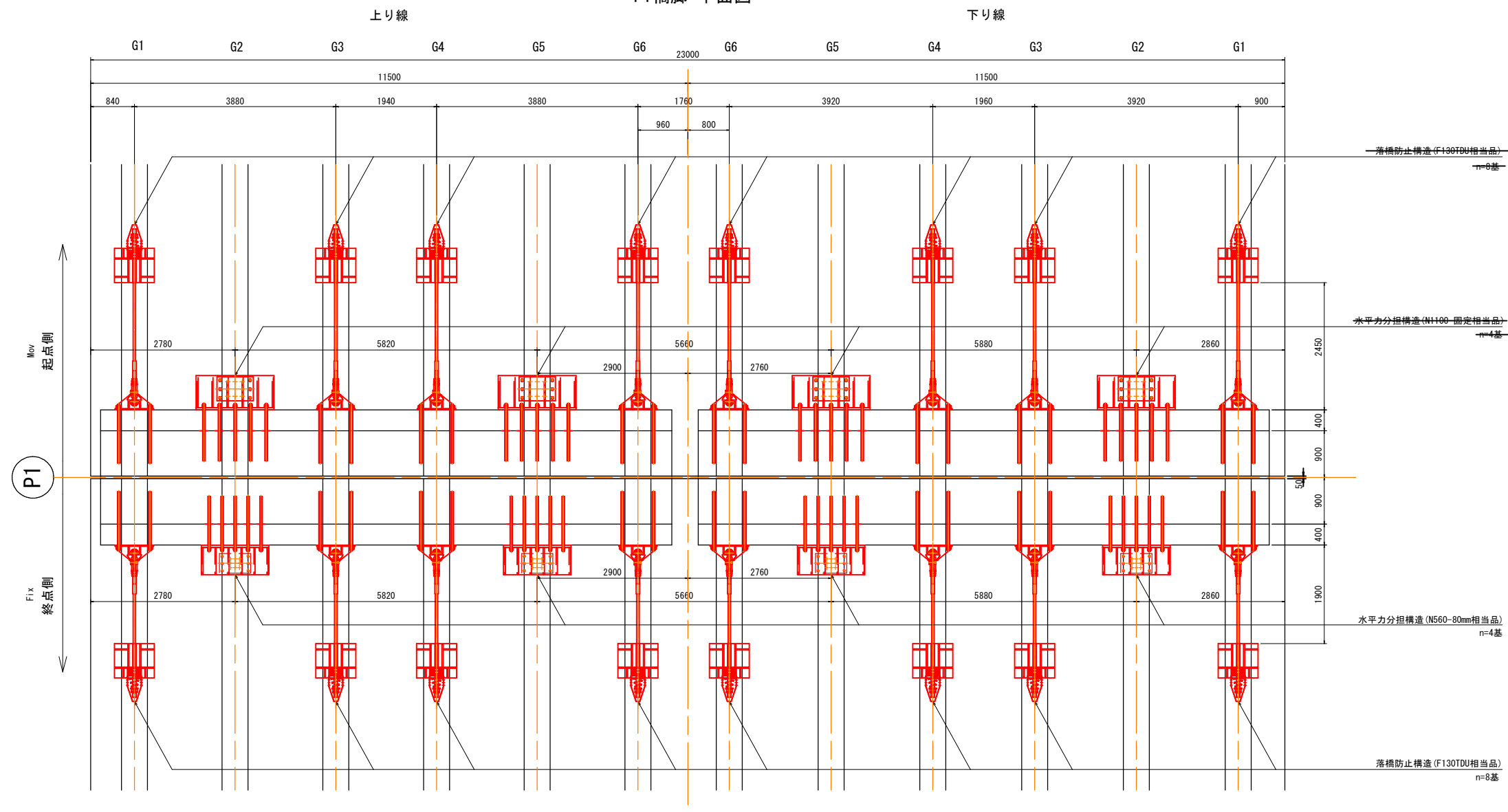
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
県道鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	4
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

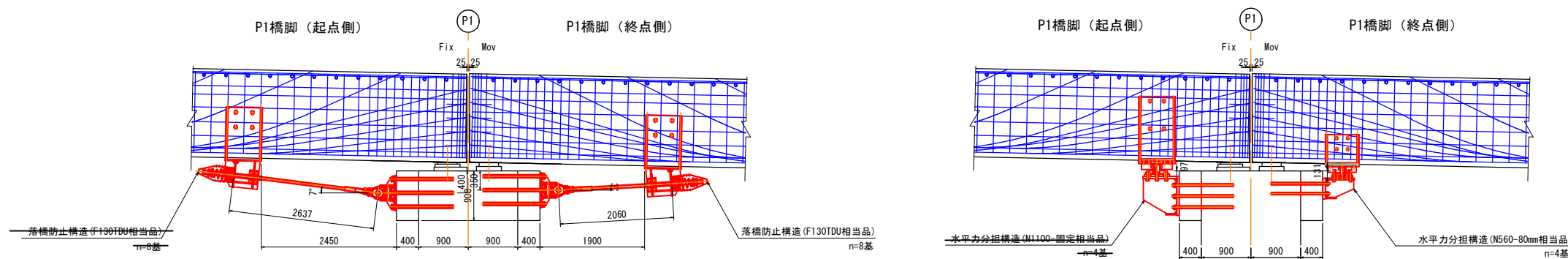
R6 国補正
公共 実施設計

P1橋脚:取付図

P1橋脚 平面図



P1橋脚 側面図



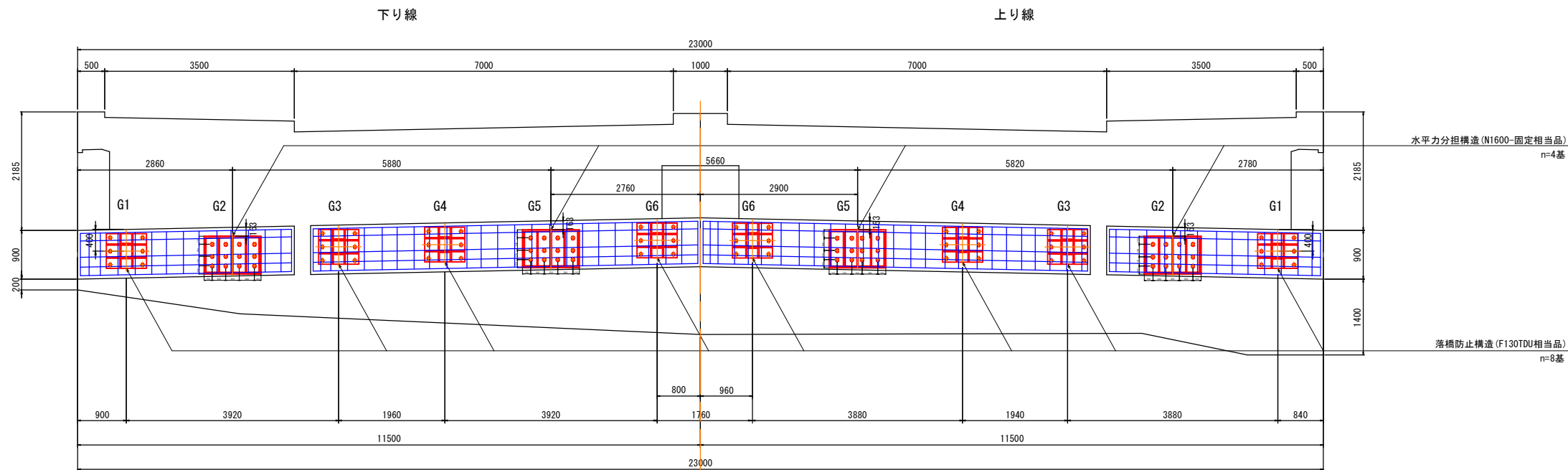
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
県道鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その3)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	5
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

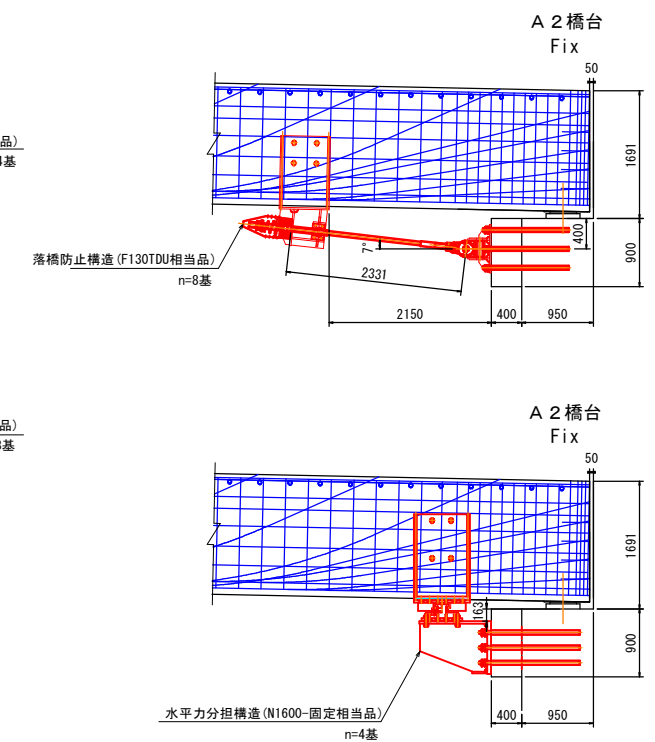
R6 国補正
公共 実施設計

A2橋台:取付図

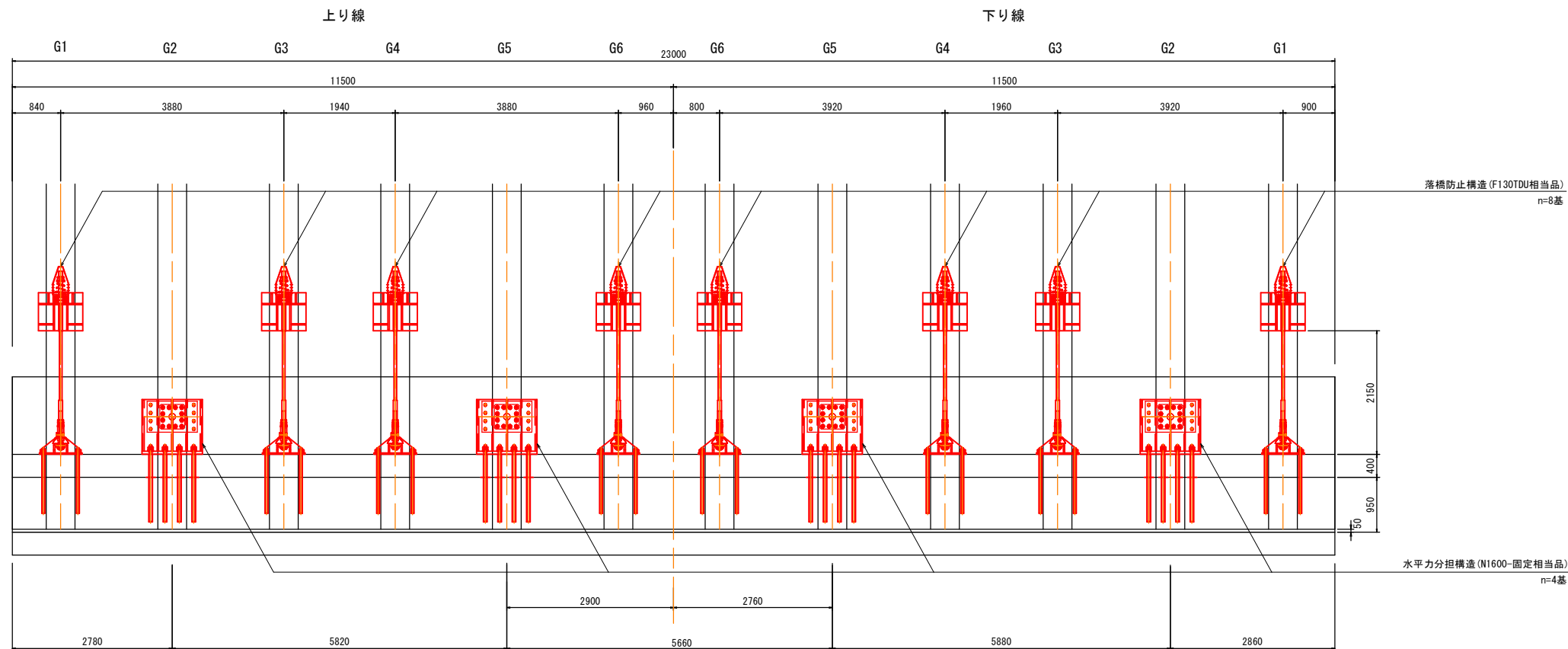
A2橋台 正面図



A2橋台 側面図



A2橋台 平面図



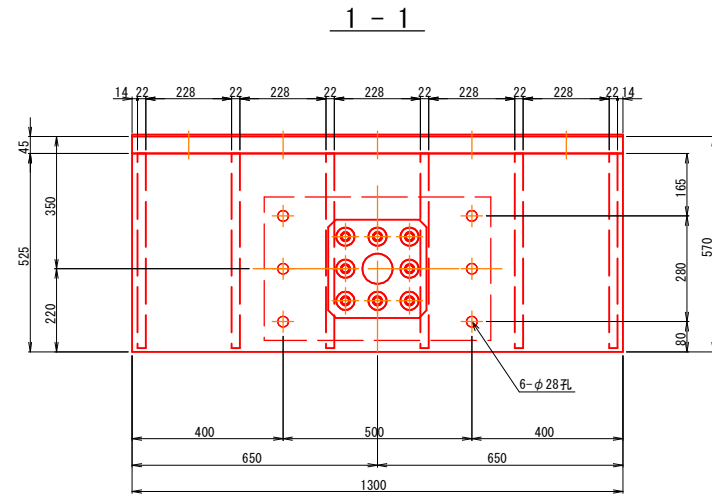
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その4)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	6
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正
公共 実施設計

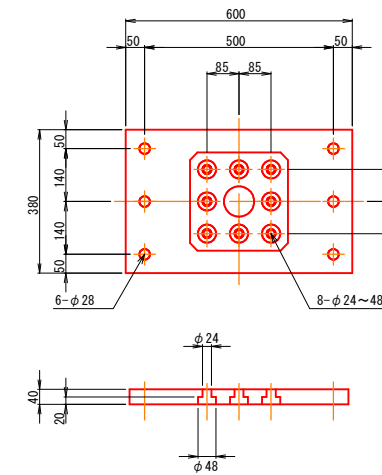
A1橋台, P1橋脚(終点側) 取付金物(1)

下部エブラケット詳細図



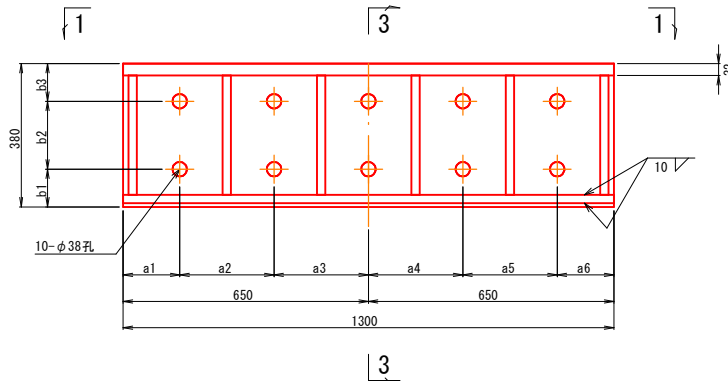
ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 380x45x1300 (SM400C)
 1-PL 525x32x1300
 1-PL 200x22x1300
 6-PL 515x22x316

下部工取付プレート

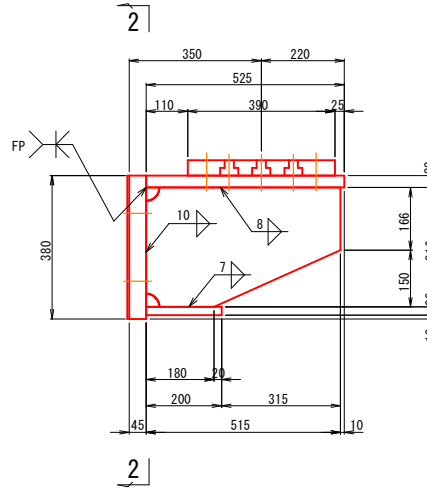


ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 380x40x600 (SM490B)
 6-六角Bolt M24x120 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

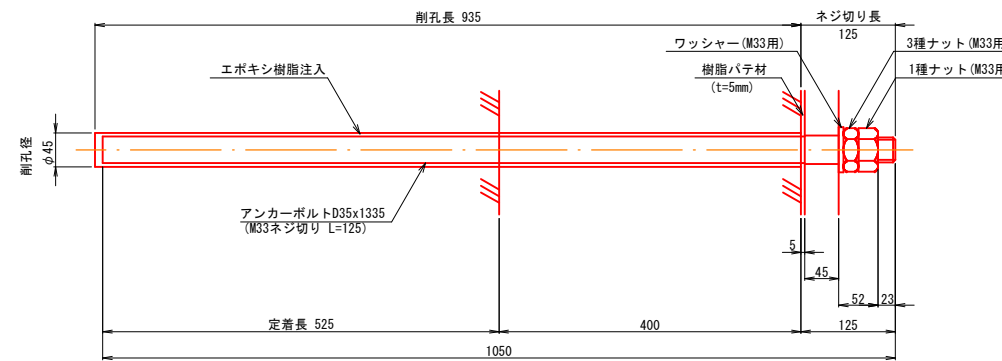
2-2



3-3



アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:4基)
 10-AncBolt D35x1050 (SD345)
 10-1種Nut M33用 (SS400)
 10-3種Nut M33用 (SS400)
 10-Washer M33用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

寸法表

	a1	a2	a3	a4	a5	a6	b1	b2	b3
A1橋台	G2	150	270	220	260	250	120	160	100
	G5	150	280	200	270	250	100	180	100
P1橋脚	G2	150	250	240	260	250	100	180	100
	G5	150	240	260	250	250	100	180	100
終点側	G2	180	220	250	250	250	100	180	100
	G5	150	250	250	240	260	100	170	110
側面	G2	150	250	250	250	250	100	180	100
	G5	150	250	260	240	250	100	180	100

注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

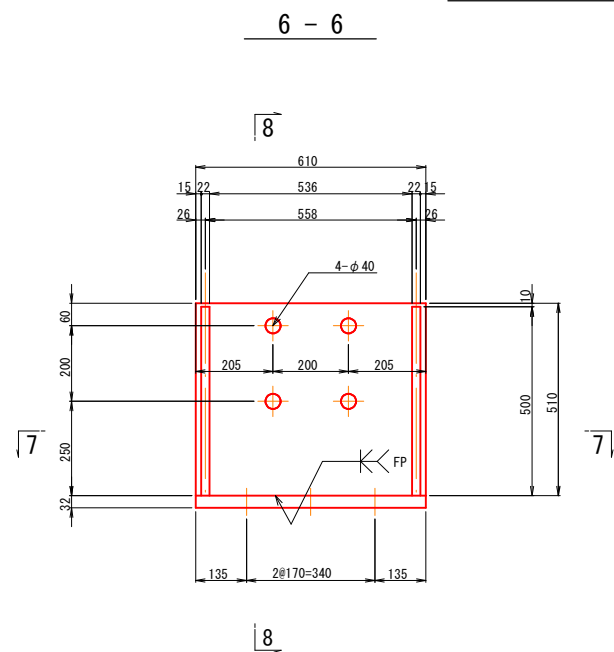
路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	7
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正

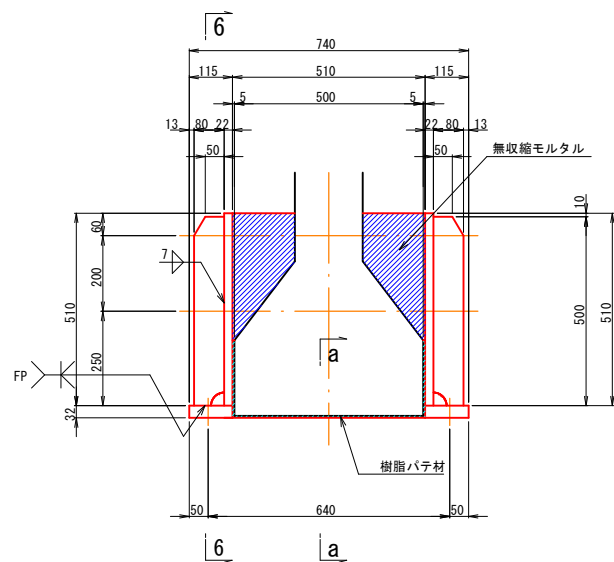
公 共 実施設計

A1橋台, P1橋脚 (終点側) 取付金物 (2)

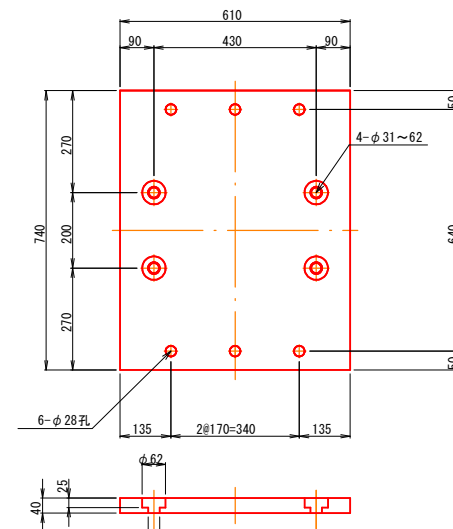
上部エブラケット詳細図



8-8

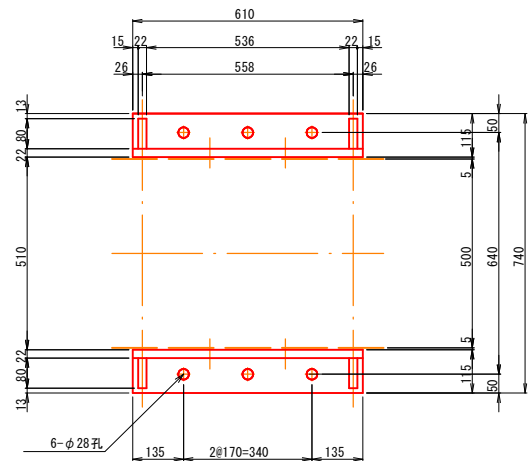


上部工取付プレート

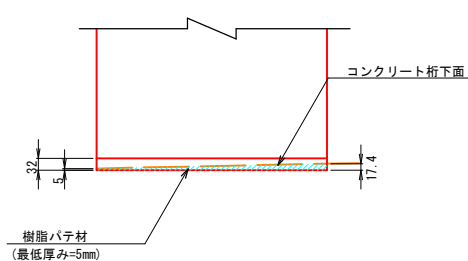


ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 740x40x610 (SS400)
 6-六角Bolt M24x120 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

7-7



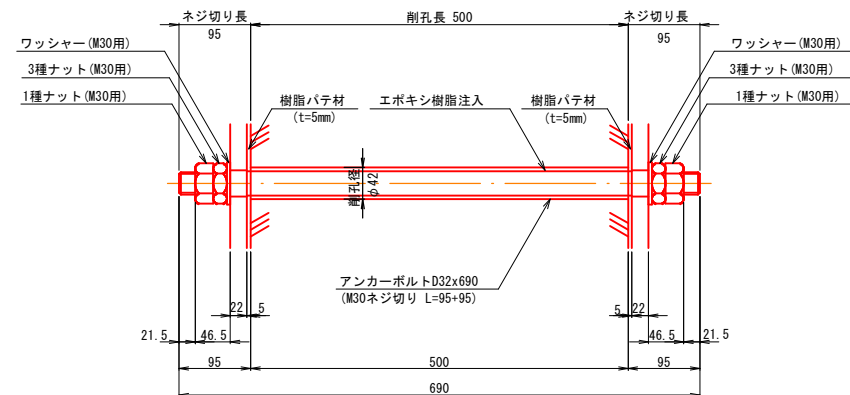
a-a



ブラケット1基当り (製作数:4基)
 2-PL 115x32x610
 2-PL 610x22x510
 4-PL 80x22x500
 4-アンカーボルト D32x690 (SD345)
 8-1種 Nut M30用 (SS400)
 8-3種 Nut M30用 (SS400)
 8-Washer M30用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

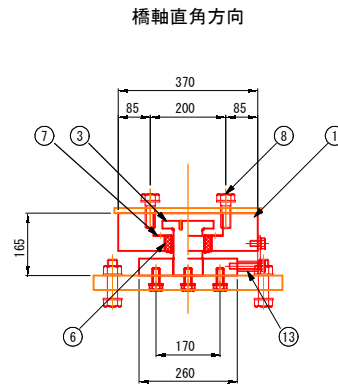
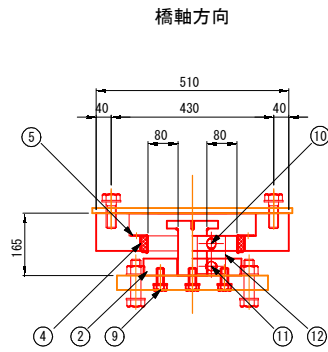
路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図 (その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	8
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正

公共 実施設計

A1橋台, P1橋脚(終点側) 取付図及び部品図

取付詳細図

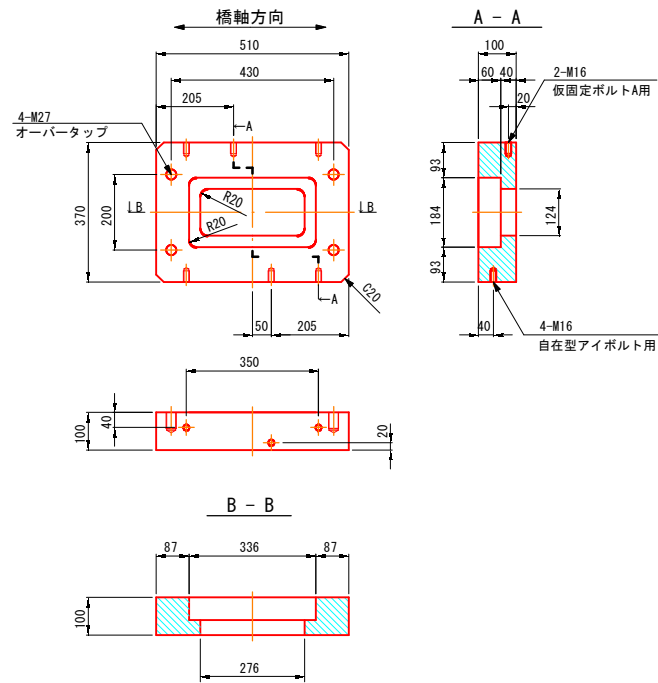


材料表(SEリミッター1基当たり)

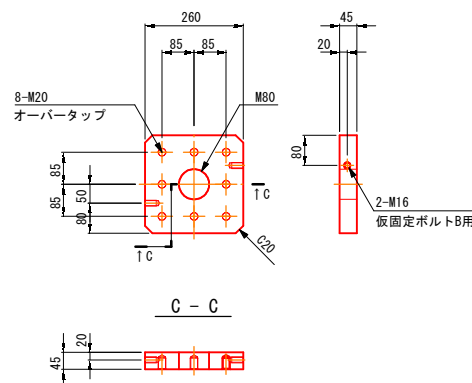
全4組(4組/橋台, 4組/橋脚)

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	N560-80相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N560用相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N560用相当品	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズ処理, DMコート
4	バッファ-A	N560用相当品	個	2	クロロプレングム
5	バッファガイドA	N560用相当品	個	2	SUS
6	バッファ-B	N560用相当品	個	2	クロロプレングム
7	バッファガイドB	N560用相当品	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M27x50 1W付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M20x45 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

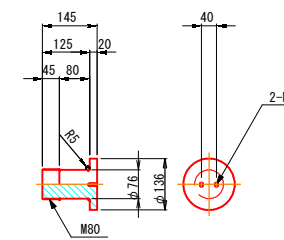
① ソールプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



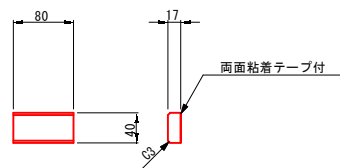
② リミットピンプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



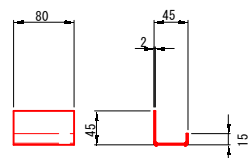
③ リミットピン (SCM435相当品:DMコート)



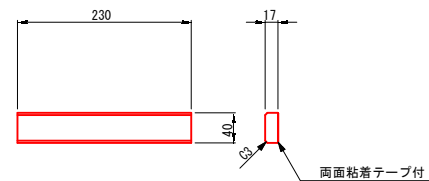
④ バッファ-A S=1:5 (クロロプレングム)



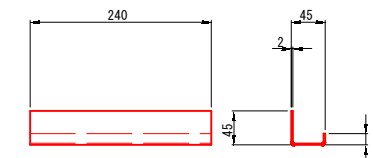
⑤ バッファガイドA S=1:5 (SUS)



⑥ バッファ-B S=1:5 (クロロプレングム)



⑦ バッファガイドB S=1:5 (SUS)



- 注記)
1. 水平力分担構造の納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
 2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
 3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
 4. 吊り金具は、自在型アイボルト(M16)を1物件当たり8個付属する。

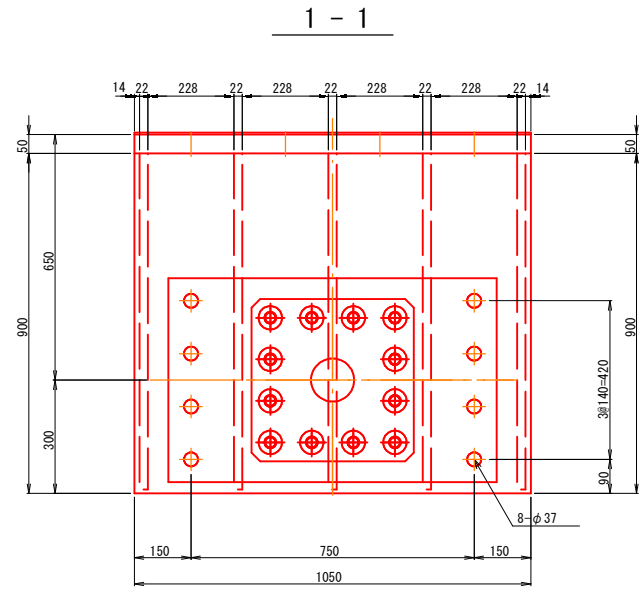
路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	9
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正
公共 実施設計

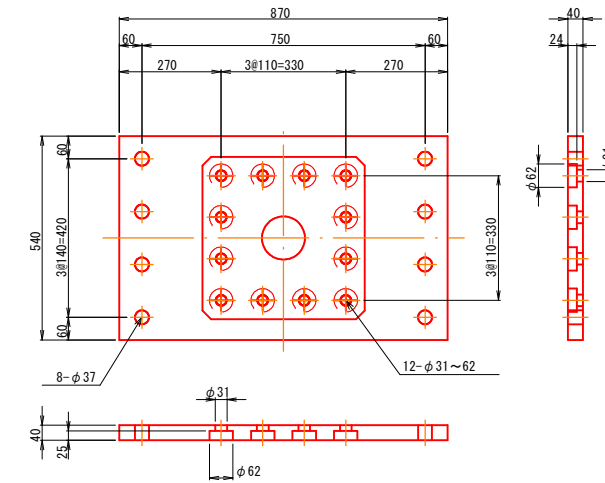
A2橋台取付金物(1)

下部エブラケット詳細図

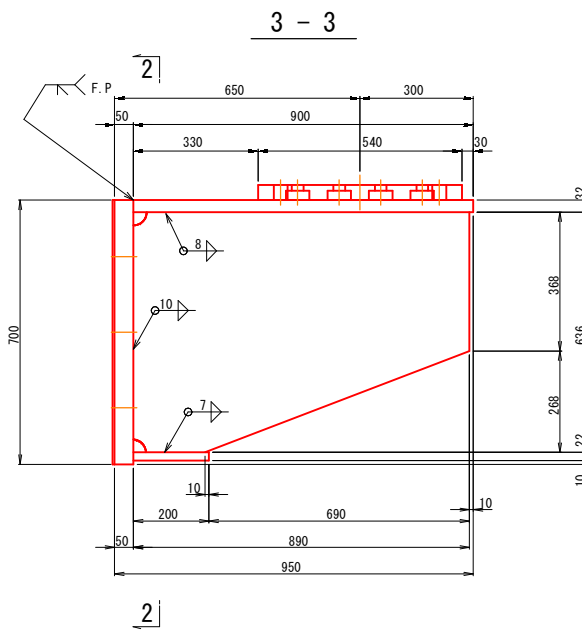
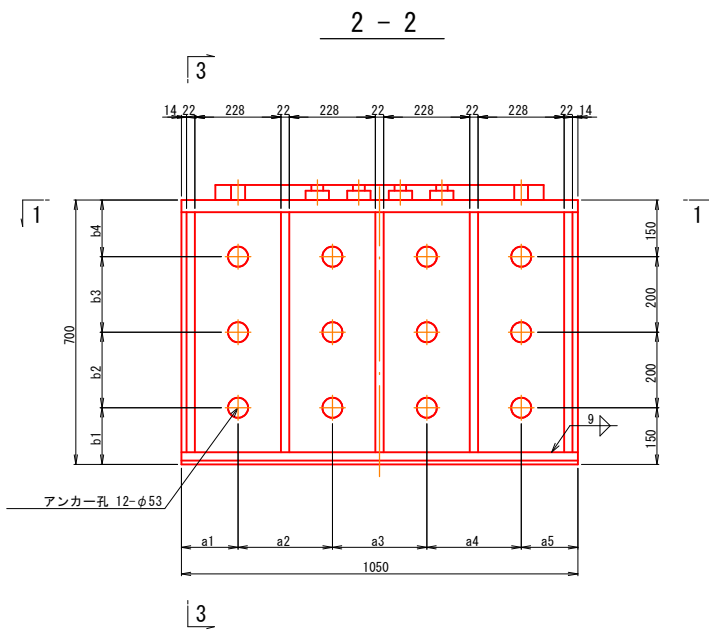
下部工側取付プレート



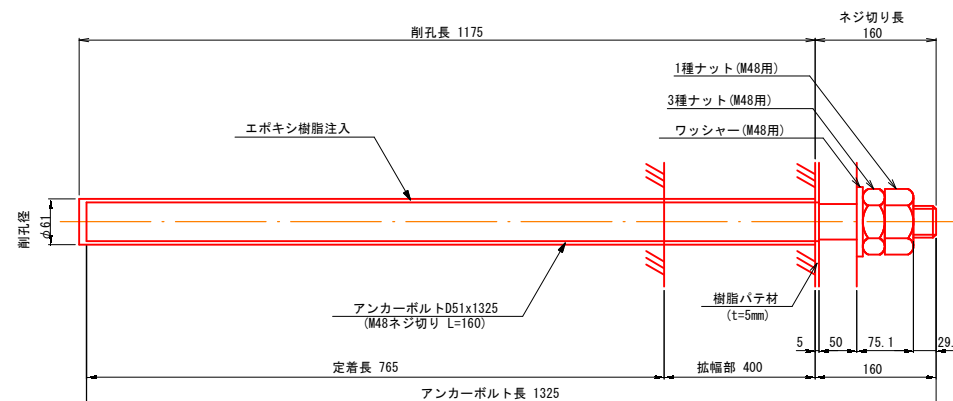
- ブラケット1基当り(製作数:4基)
- 1-PL 700x50x1050 (SM520C)
 - 1-PL 900x32x1050 (SM490YB)
 - 1-PL 200x22x1050 (SM490B)
 - 5-PL 890x22x 636 (SM490B)
 - 12-アンカーボルト D51x1325 (SD345)
 - 12-1種ナット M48用 (SS400)
 - 12-3種ナット M48用 (SS400)
 - 12-ワッシャー M48用 (SS400)



- 水平力分担構造1基当り(製作数:4基)
- 1-PL 540x40x870 (SM490B)
 - 8-六角ボルト M33x130 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1-SW]



アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

寸法表

	a1	a2	a3	a4	a5	b1	b2	b3	b4
上り線	G2	160	240	250	250	150	170	230	150
A2橋台	G5	150	270	190	290	150	170	230	150
下り線	G2	150	250	250	280	120	180	220	150
	G5	150	250	250	280	120	150	170	230

注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

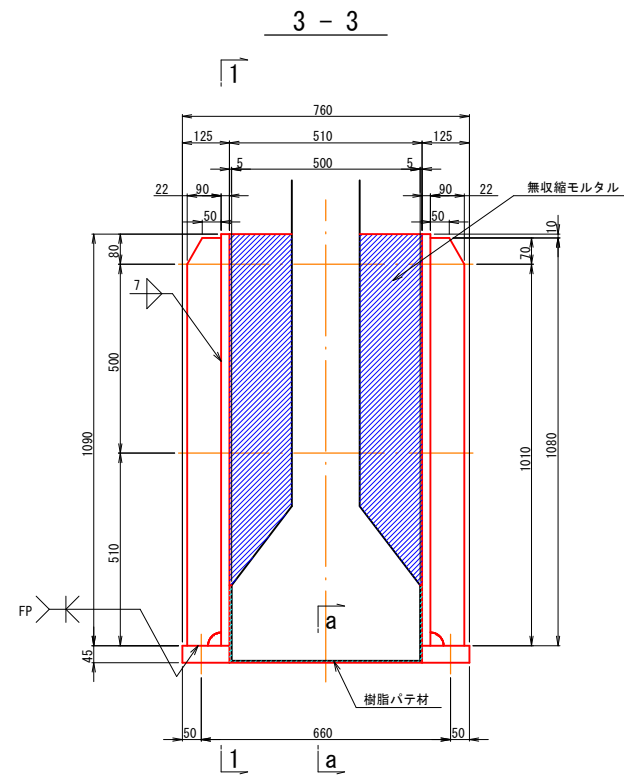
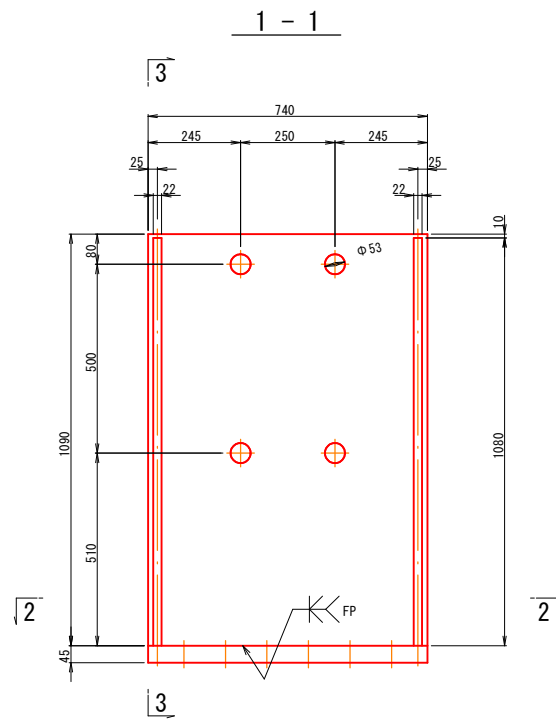
路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
鳥取県鳥取市吉線(古海1号橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋補修)(国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その7)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	10
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 国補正

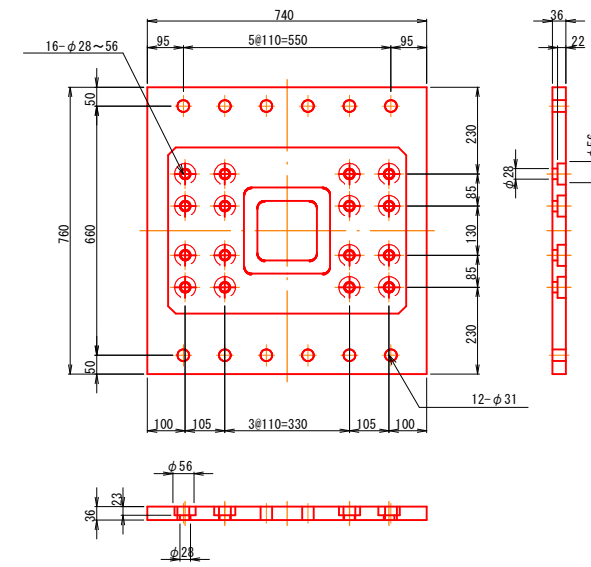
公共 実施設計

A2橋台取付金物(2)

上部エブラケット詳細図

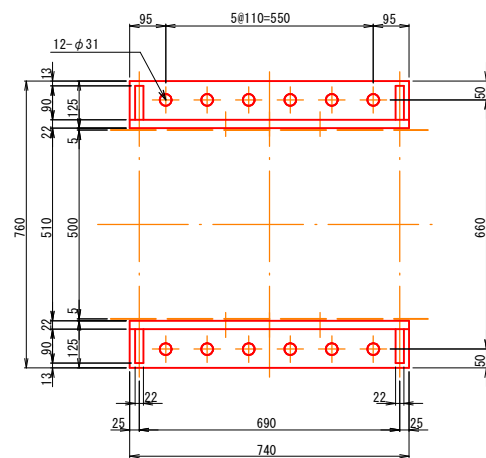


上部工側取付プレート

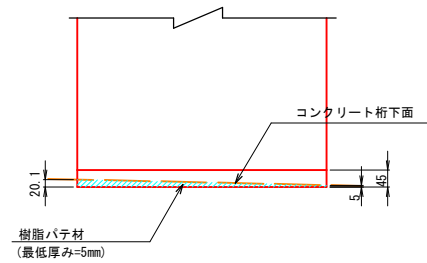


水平力分担構造1基当り(製作数:4基)
 1-PL 740x36x760 (SM400B)
 12-六角ボルト M27x130 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1-SW]

2-2



a-a

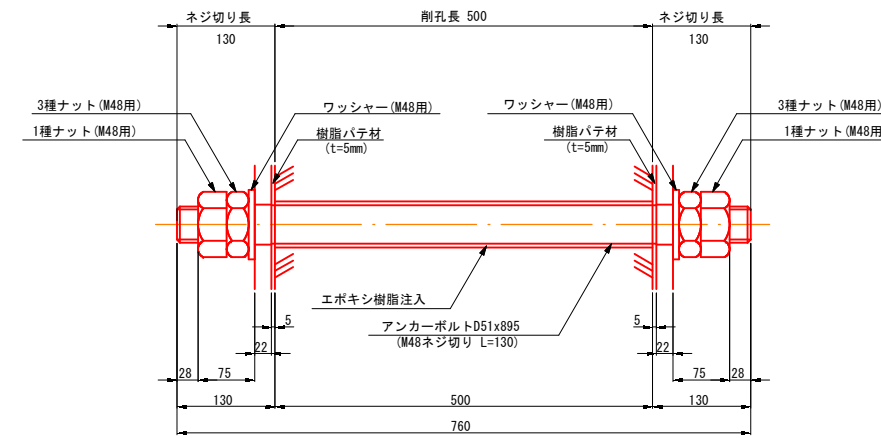


ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 125x45x740 (SM400B)
- 2-PL 1090x22x740
- 4-PL 90x22x1080
- 4-アンカーボルト D51x760 (SD345)
- 8-1種ナット M48用 (SS400)
- 8-3種ナット M48用 (SS400)
- 8-ワッシャー M48用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

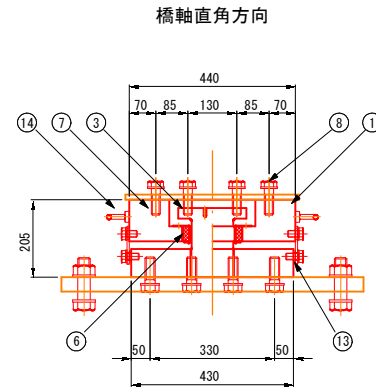
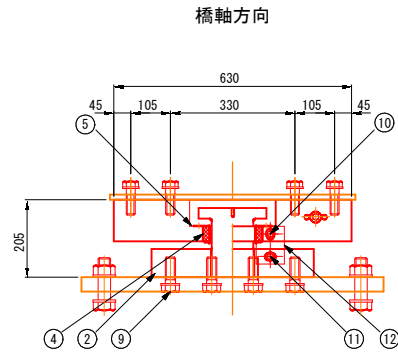
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線(古海1号橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋補修)(国補正)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その8)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全21	葉中の内	11
平成6年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正

公 共 実施設計

A2橋台取付図及び部品図

取付詳細図

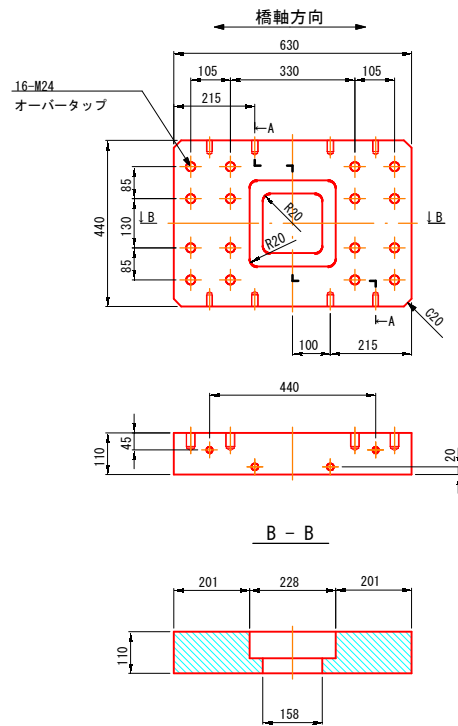


材料表(SEリミッター1基当たり)

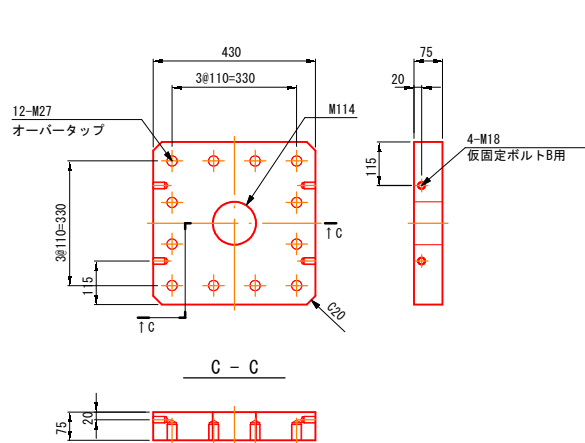
全4基

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	N1600-固定相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N1600用相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N1600用相当品	本	1	SCM435:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファーA	N1600用相当品	個	2	クロロプレングム
5	バッファーガイドA	N1600用相当品	個	2	SUS
6	バッファーB	N1600用相当品	個	2	クロロプレングム
7	バッファーガイドB	N1600用相当品	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M24x50 1W付	組	16	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M27x50 1W付	組	12	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA	M18x30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x35 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	N1600用相当品	個	4	SS400:電気めっき
13	スペーサー	N1600用相当品	個	4	SS400相当品:溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

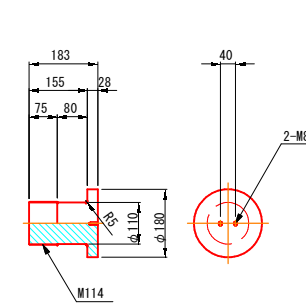
① ソールプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



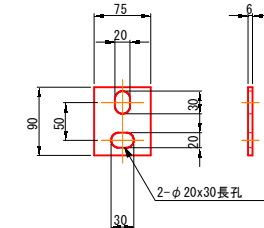
② リミットピンプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



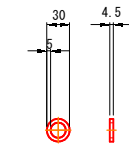
③ リミットピン (SCM435:DMコート)



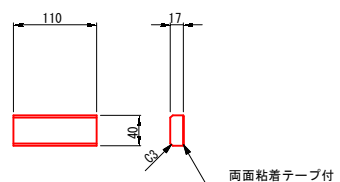
⑫ 仮固定プレート (SS400:電気めっき) S=1:5



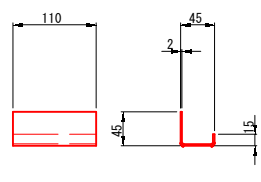
⑬ スペーサー (SS400相当品:溶融亜鉛めっき) S=1:5



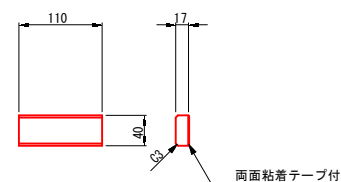
④ バッファーA (クロロプレングム) S=1:5



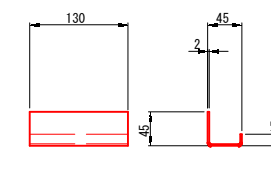
⑤ バッファーガイドA (SUS) S=1:5



⑥ バッファーB (クロロプレングム) S=1:5



⑦ バッファーガイドB (SUS) S=1:5



- 注記)
1. 水平力分担構造の納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
 2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
 3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
 4. 吊り金具は、自在型アイボルト (M16) を1物件当たり8個付属する。

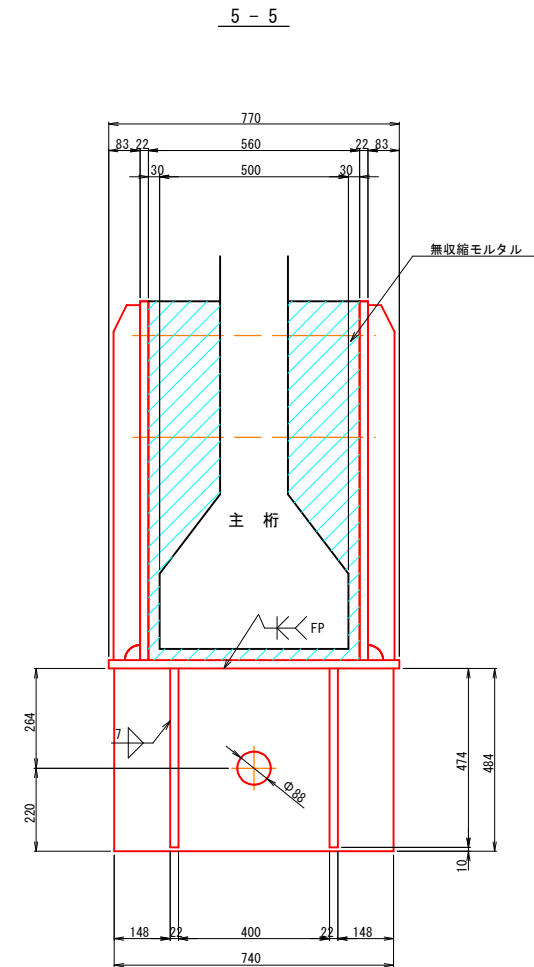
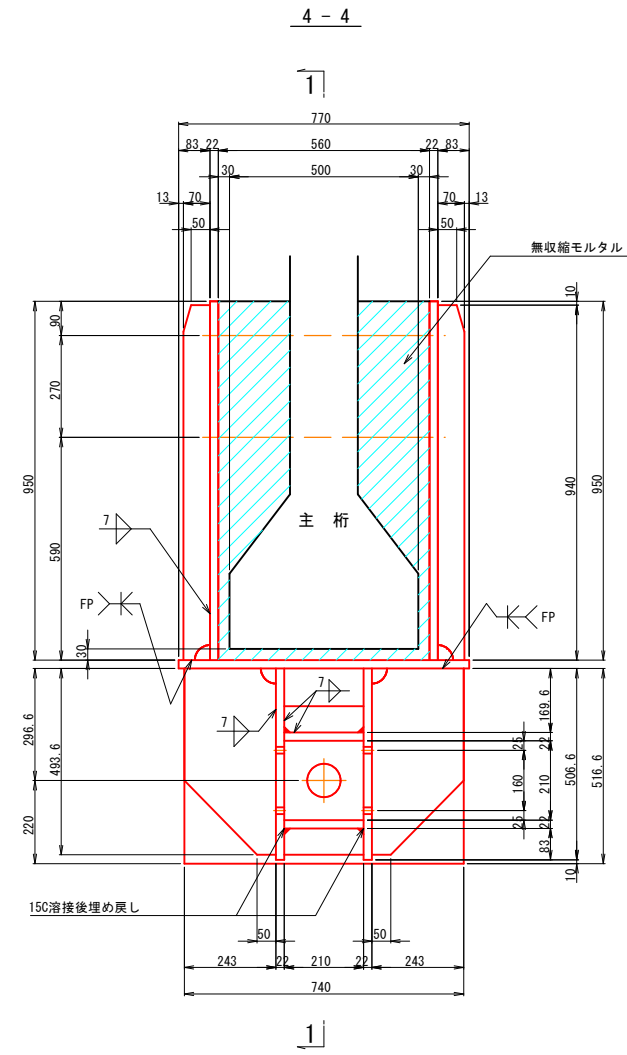
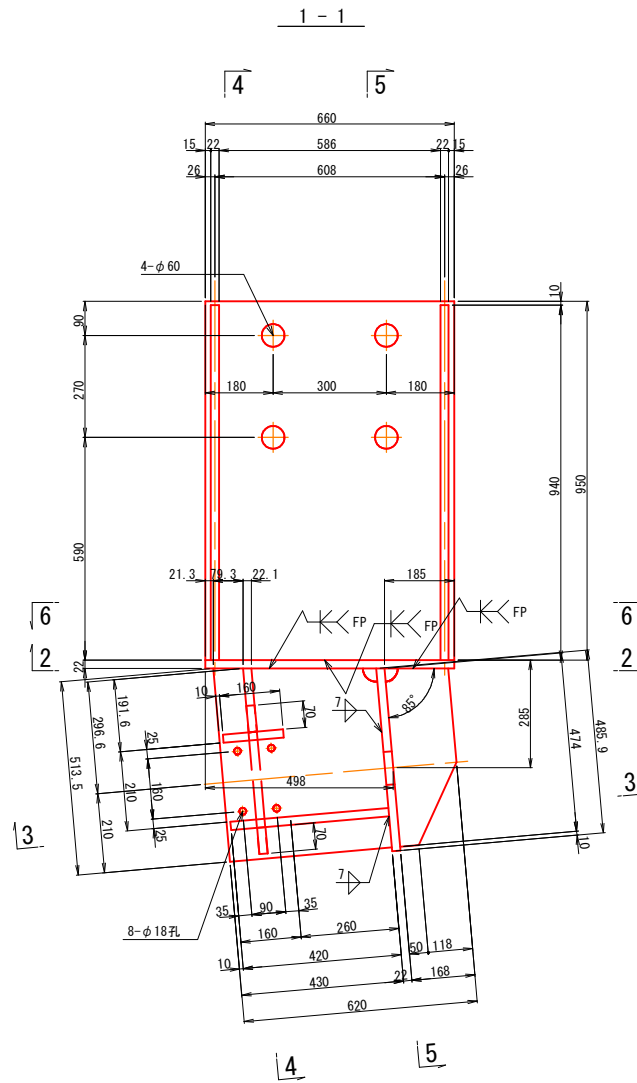
路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	12
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正
公共 実施設計

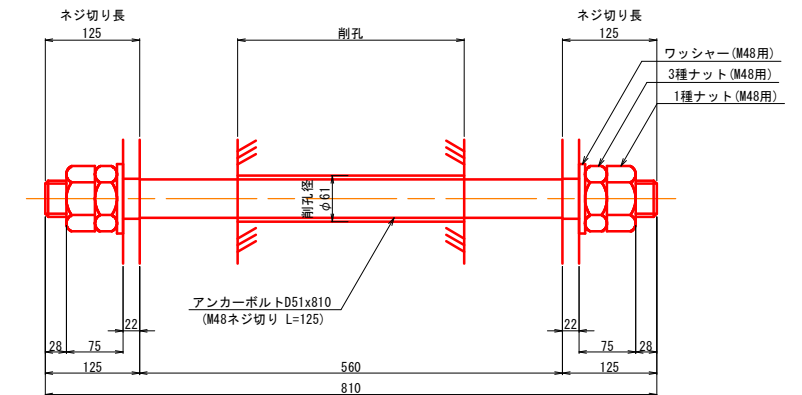
古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その1) S=1:10

A1-A2橋台, P1橋脚(起点側-終点側): 上部エブラケット

ブラケット詳細図



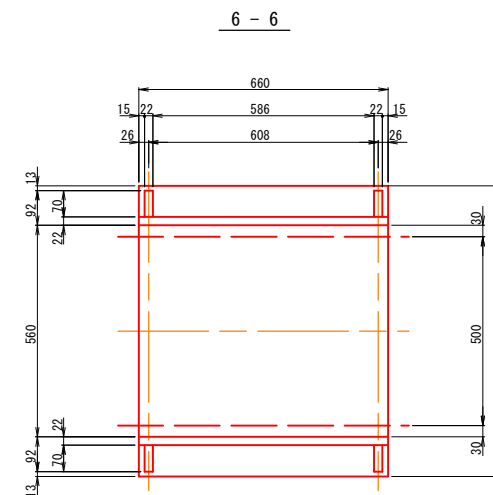
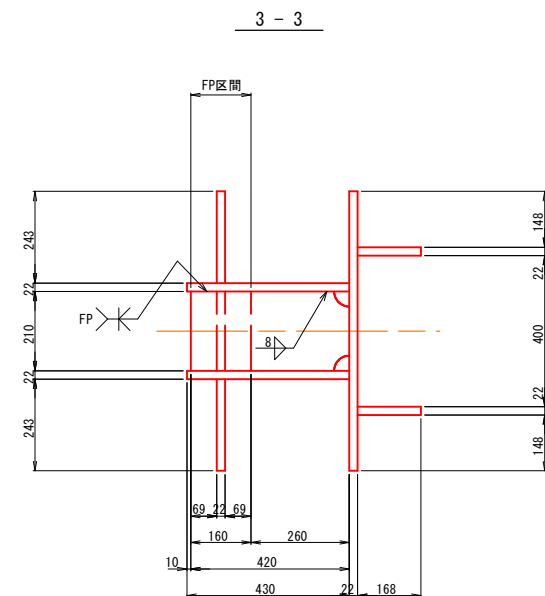
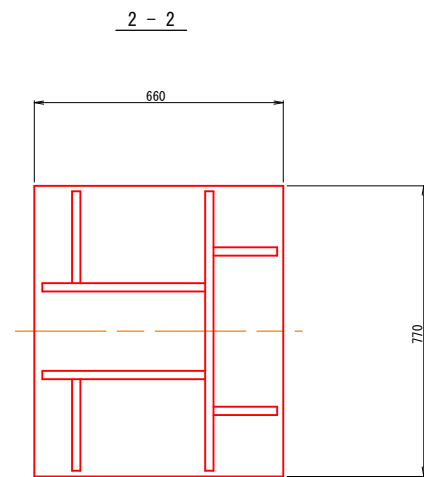
アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:32基)

- 2-PL 168x22x474
- 2-PL 430x22x514
- 2-PL 243x22x494
- 2-PL 70x22x210
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 486x22x740
- 1-PL 660x22x770
- 4-PL 70x22x940
- 2-PL 660x22x950
- 4-Anc Bolt D51x810(SD345)
- 8-1種 Nut M48用(SS400)
- 8-3種 Nut M48用(SS400)
- 8-Washer M48用(SS400)



注記)

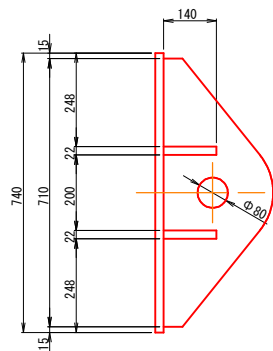
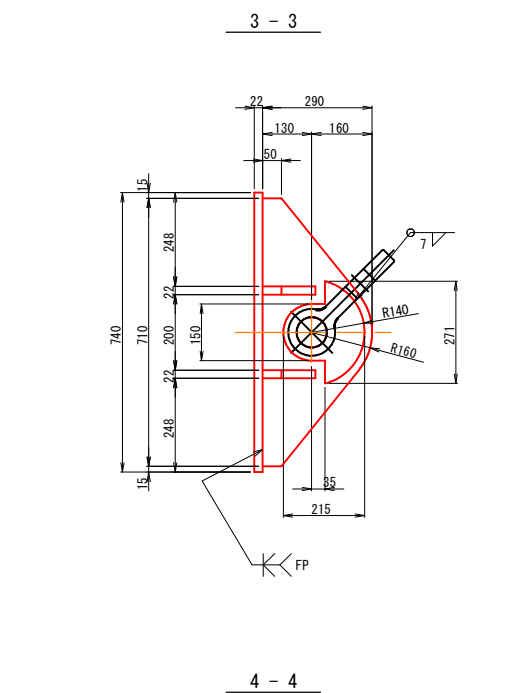
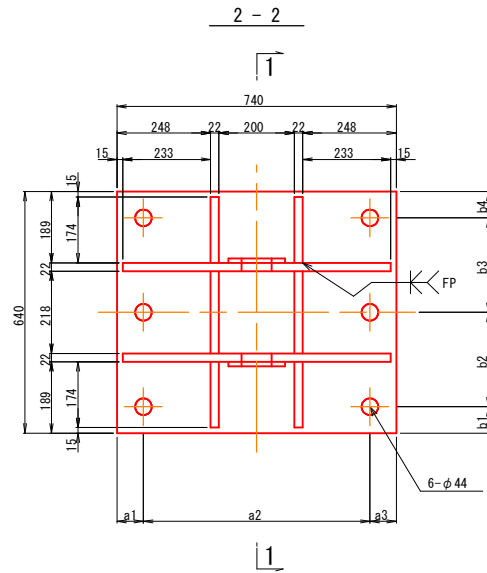
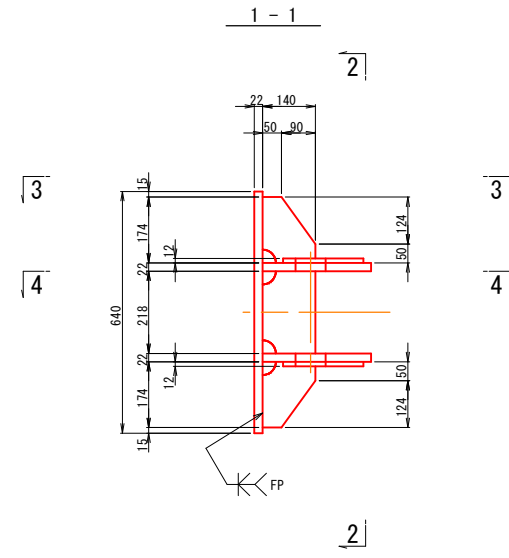
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めつき仕上げとする。垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
県道鳥取野倉吉線(古海1号橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋補修)(国補正)			
図名	古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	1 3
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 国補正

公共 実施設計

ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:8基)

- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 290x22x710
- 4-PL 140x22x174
- 2-PL 140x22x218
- 1-PL 740x22x640
- 6-Anc Bolt D41x1125 (SD345)
- 6-1種 Nut M39用 (SS400)
- 6-3種 Nut M39用 (SS400)
- 6-Washer M39用 (SS400)

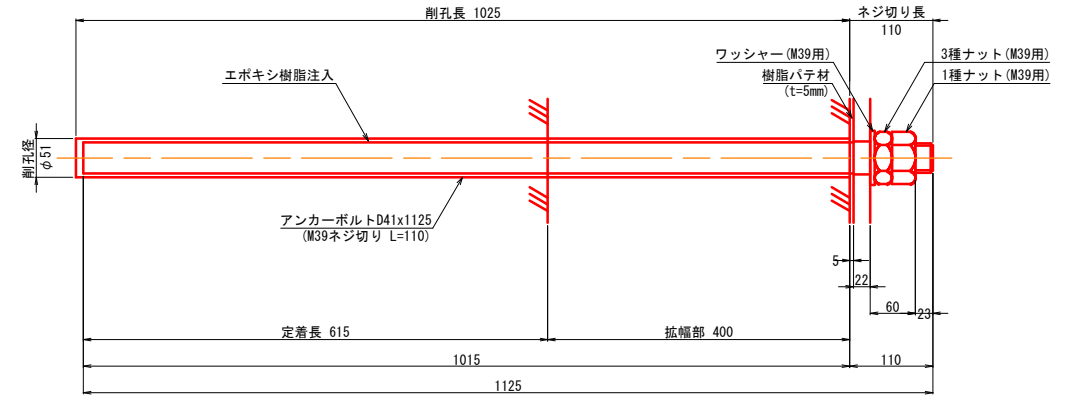
寸法表

	a1	a2	a3	b1	b2	b3	b4	基数
①	70	600	70	70	250	250	70	14
②	70	560	110	100	220	230	90	2
③	70	560	110	100	220	250	70	7
④	70	600	70	120	200	250	70	4
⑤	70	540	130	70	250	250	70	1
⑥	140	530	70	70	250	229	91	1
⑦	120	500	120	70	250	250	70	2
⑧	110	560	70	100	220	250	70	1

ブラケット対応表

	上り線		下り線	
	②	①	③	①
A1橋台	G1桁	②	①	
	G3桁	③	①	
	G4桁	③	①	
P1橋脚 起点側	G1桁	②	①	
	G3桁	⑤	③	
	G4桁	③	③	
P1橋脚 終点側	G1桁	①	⑦	
	G3桁	①	⑥	
	G4桁	③	①	
A2橋台	G1桁	④	④	
	G3桁	①	⑧	
	G4桁	①	④	
	G6桁	⑦	①	

アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

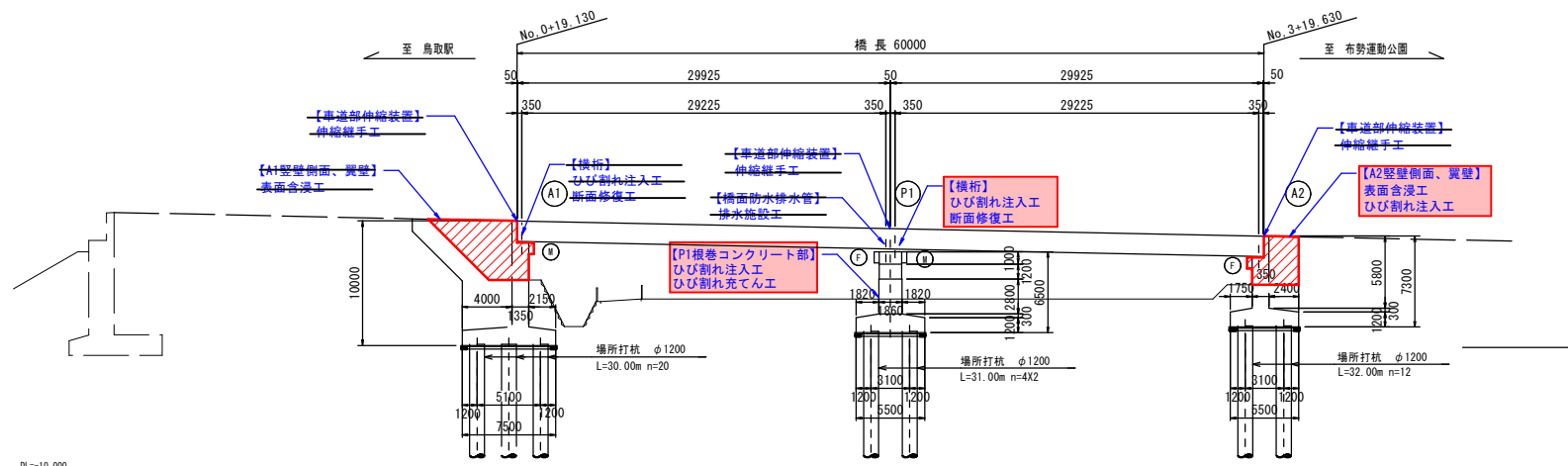
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線(古海1号橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋補修)(国補正)			
図名	古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	14
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 国補正

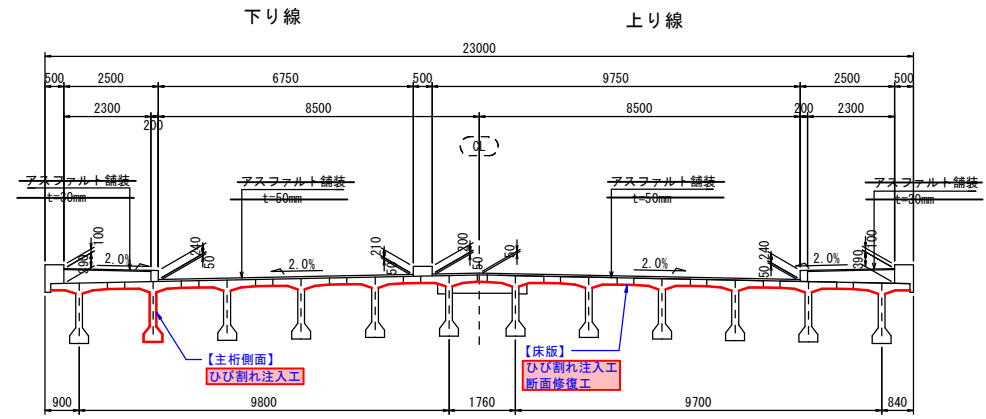
公 共 実施設計

古海1号橋 補修概要図

側面図 S=1/300



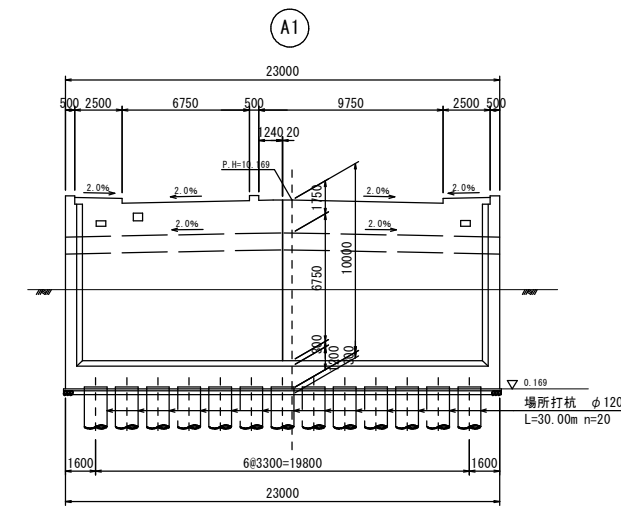
標準断面図 S=1/100



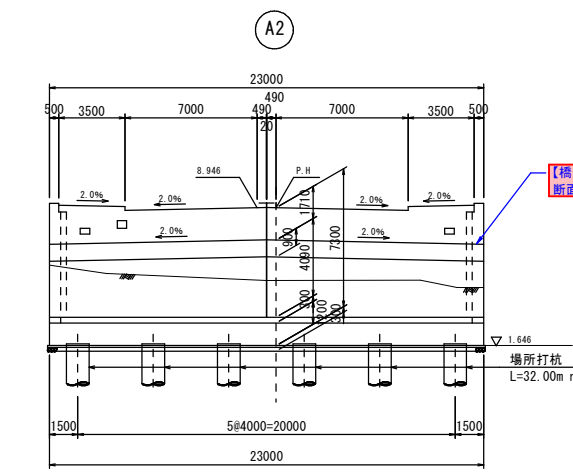
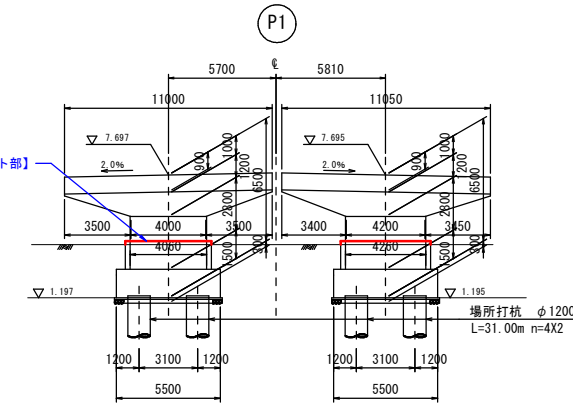
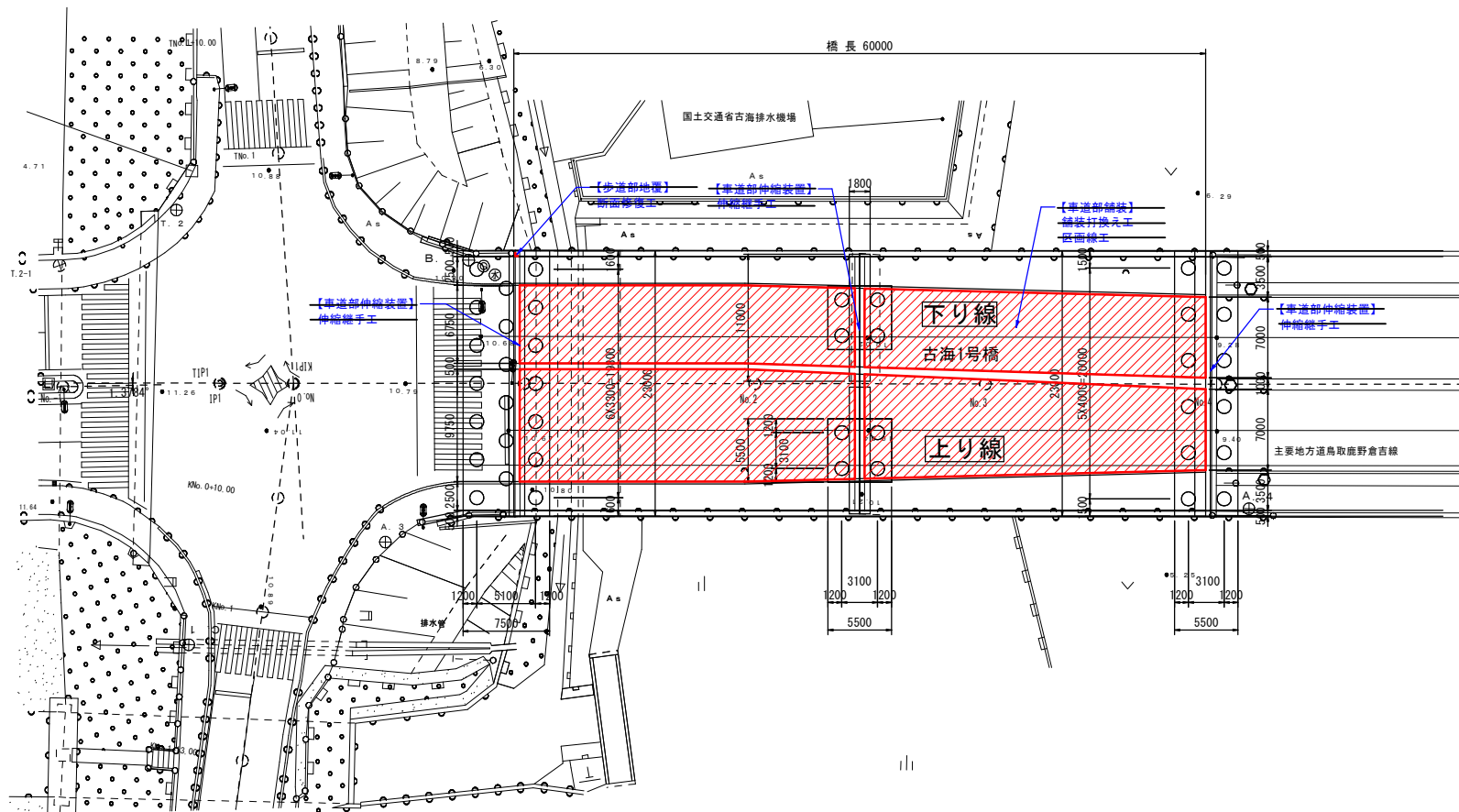
DL-10.000

縦断勾配	L=239.84m i=2.04%	
盛土高		
切土高		
計画高		
地盤高		
追加距離		
単距離		
測点		
曲線	1A+1' 22' 42"	
片勾配	左側	-2.00%
すりつけ図	右側	-2.00%
幅	左側	
すりつけ図	右側	

正面図 S=1/200



平面図 S=1/300

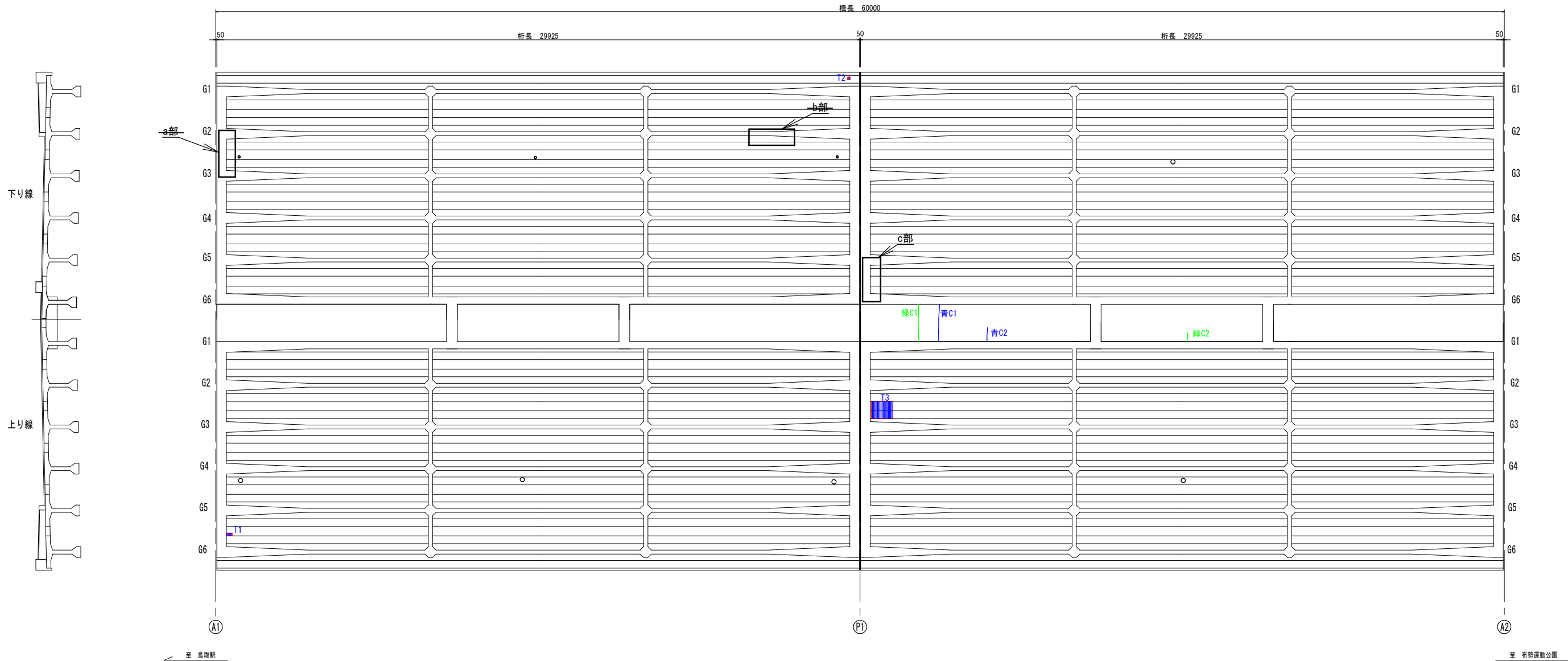


R6 国補正 公 実施設計

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 補修概要図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	16
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

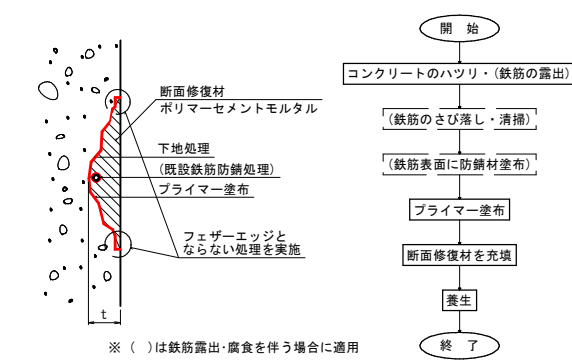
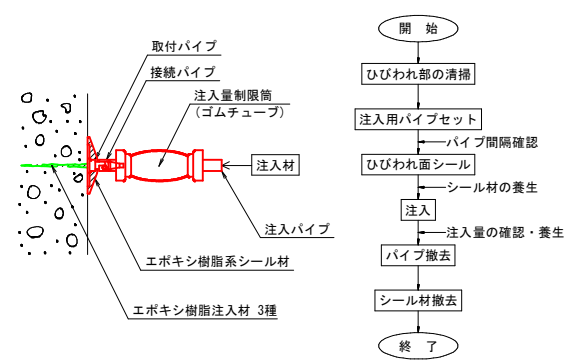
古海1号橋 上部工補修図

平面図 S=1/100



ひびわれ注入工詳細図(参考)

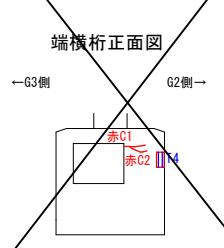
断面修復工詳細図(参考)



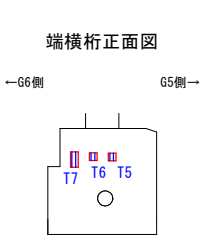
凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
赤C番号	ひび割れ 0.5mm < W ≤ 1.0mm	ひび割れ注入工
U番号	うき・剥落	断面修復工 横×縦(m) t=5cm
T番号	鉄筋・鋼材露出	断面修復工 横×縦(m) t=5cm

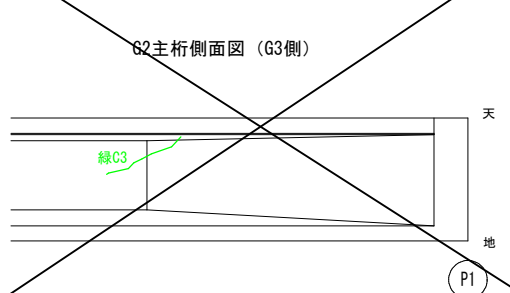
a部詳細図 S=1/50



c部詳細図 S=1/50



b部詳細図 S=1/50



数量表 (ひび割れ注入工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
緑C1	0.25	1.70
緑C2	0.30	0.40
緑C3	0.25	1.10
青C1	0.40	1.70
青C2	0.40	0.67
赤C1	0.70	0.20
赤C2	0.70	0.25
合計		4.47

数量表 (断面修復工)

損傷No.	損傷数量		
	横 (m)	縦 (m)	面積 (㎡)
T1	0.30	0.10	0.03
T2	0.10	0.10	0.01
T3	1.00	0.80	0.80
T4	0.10	0.20	0.02
T5	0.10	0.10	0.01
T6	0.10	0.10	0.01
T7	0.10	0.20	0.02
合計			0.84

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるような養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

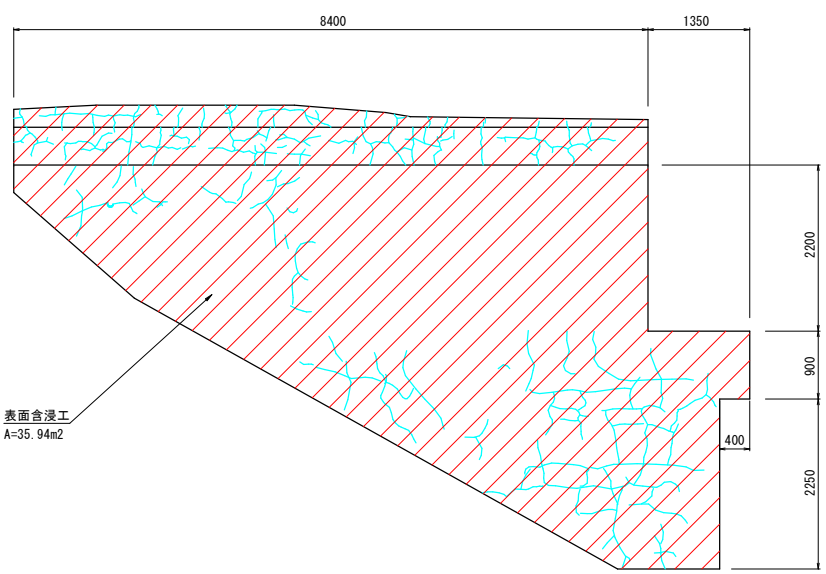
(R6) 国補正 公共 実施設計

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
鳥取県鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 上部工補修図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	17
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

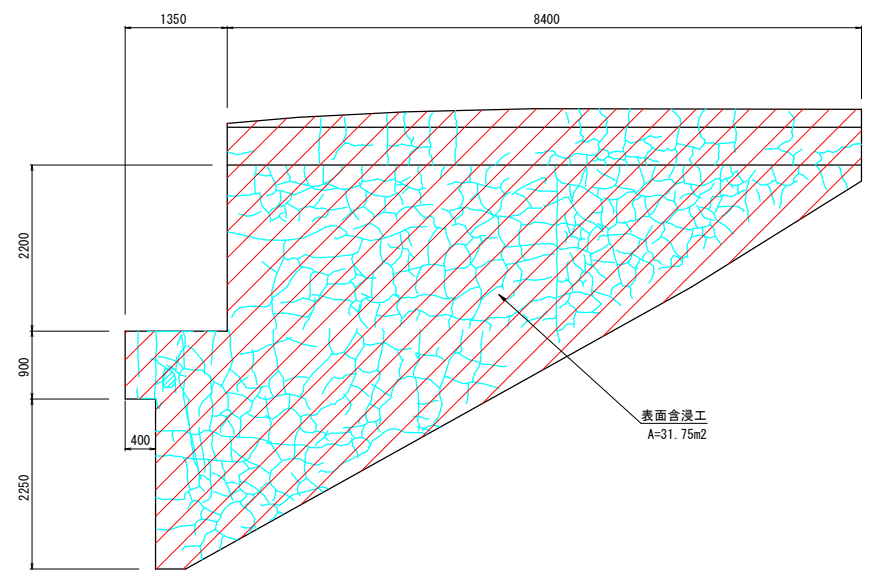
表面含浸工

A1橋台

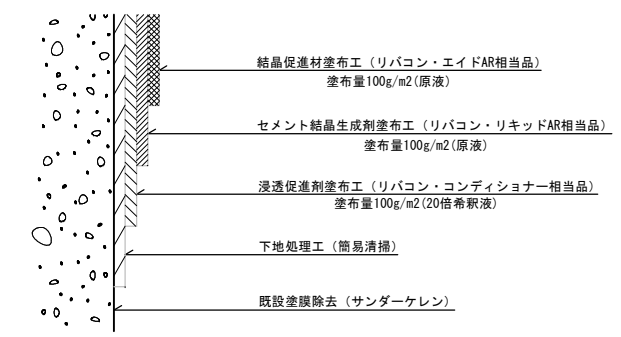
展開図 (上り線)



展開図 (下り線)



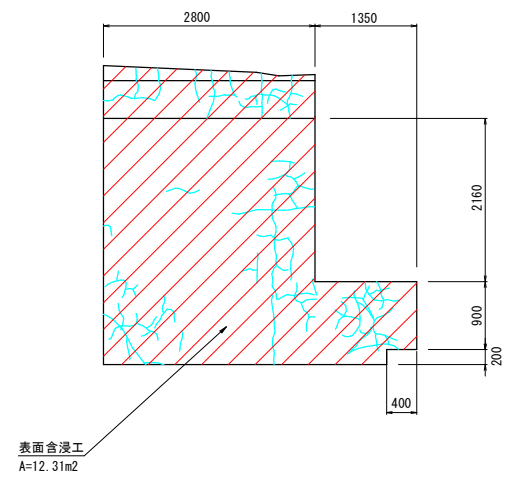
表面含浸工詳細図 (参考)



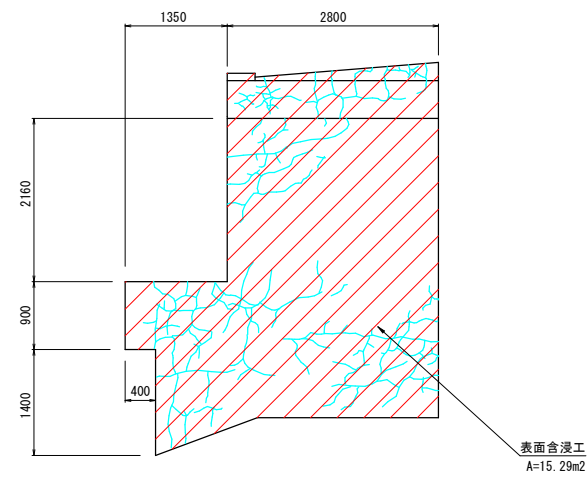
注) ※表面含浸工の際には、躯体表面の既設塗膜を除去すること。除去にはサンダーケレンを使用するが、旧塗膜が残る場合は、ウォータージェットによる除去を行うこと。

A2橋台

展開図 (下り線)



展開図 (上り線)



凡例

表記	変状区分	補修方法
	遊離石灰閉塞	表面含浸工

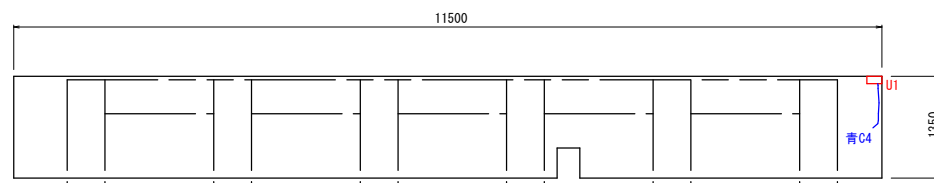
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるよう養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
	県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)		
図名	古海1号橋 下部工補修図 (その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	18
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

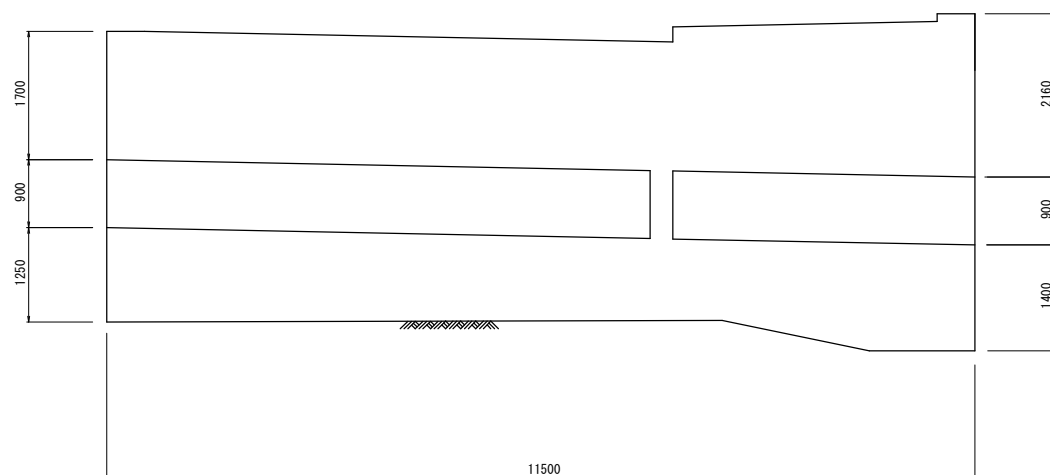
R6 国補正
公 共 実施設計

A2橋台 (上り線)

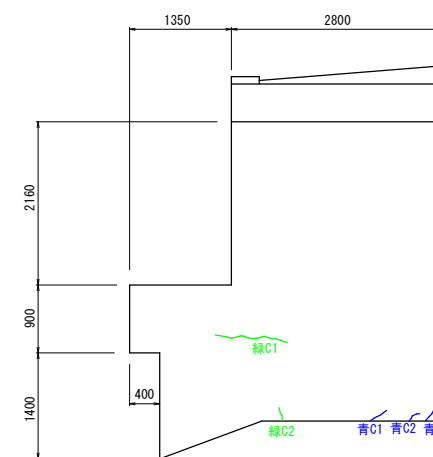
平面図 (橋座面)



正面図



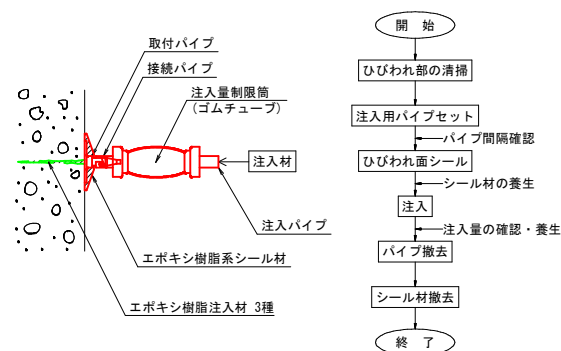
展開図



凡例

表記	変状区分	補修方法
	緑C 番号 ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
	青C 番号 ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
	U番号 うき・剥落	断面修復工 横×縦(m) t=5cm

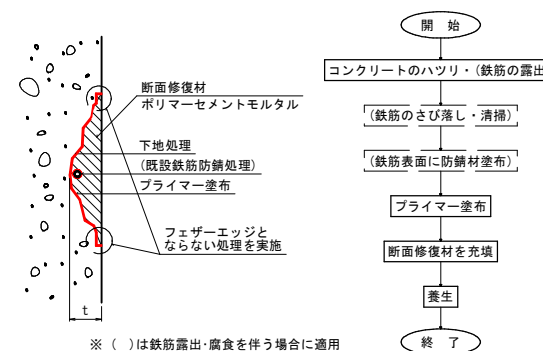
ひびわれ注入工詳細図 (参考)



数量表 (ひび割れ注入工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
緑C1	0.30	0.98
緑C2	0.25	0.18
青C1	0.40	0.26
青C2	0.40	0.18
青C3	0.40	0.22
青C4	0.50	0.62
合計		2.44

断面修復工詳細図 (参考)



数量表 (断面修復工)

損傷No.	損傷数量		
	横 (m)	縦 (m)	面積 (㎡)
U1	0.20	0.10	0.02
合計			0.02

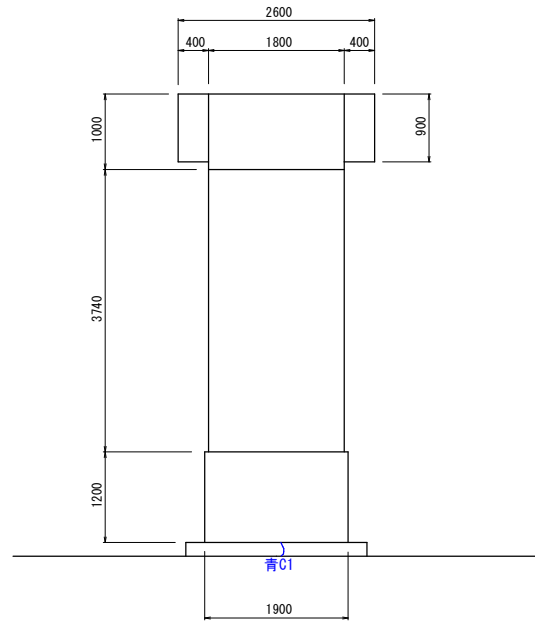
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるよう養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)	
図名	古海1号橋 下部工補修図 (その2)
位置	鳥取市 古海
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 21 葉中の内 19
令和 6 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

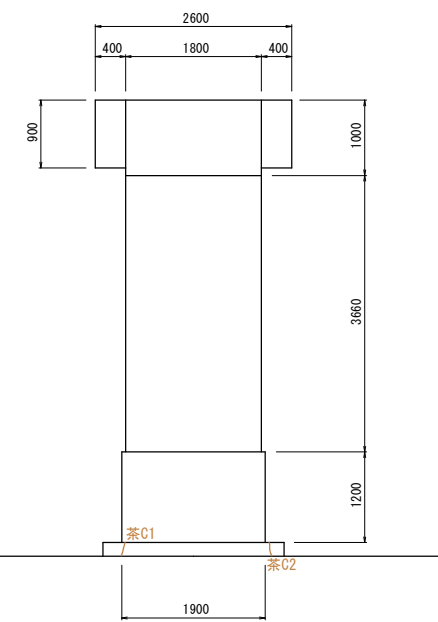
R6 国補正
公共 実施設計

P1橋脚 (上り線)

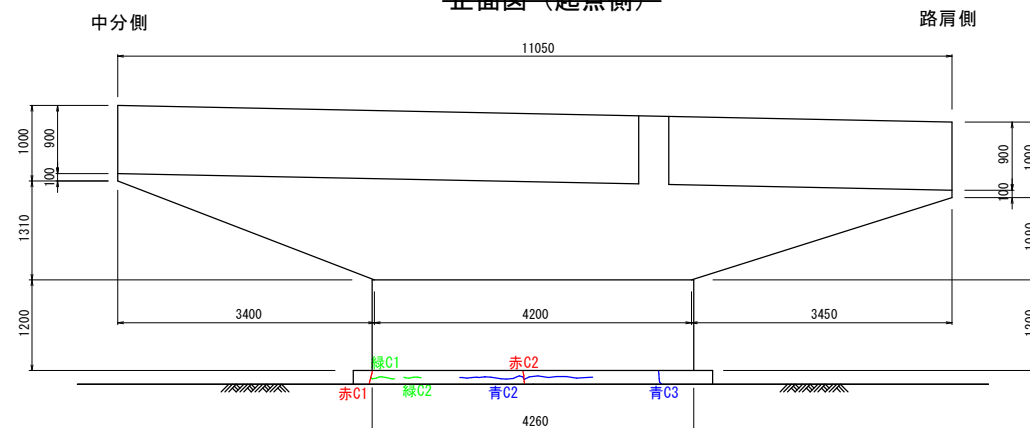
側面展開図 (中分側)



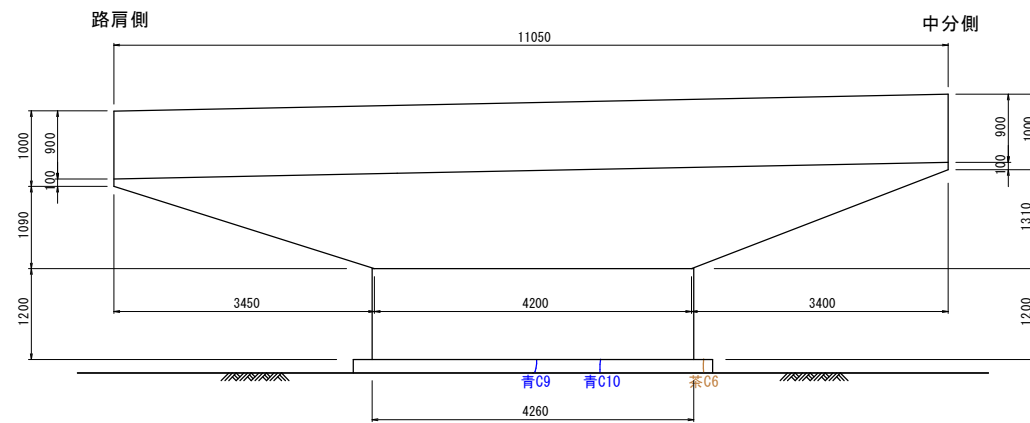
側面展開図 (路肩側)



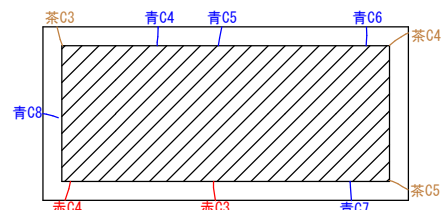
正面図 (起点側)



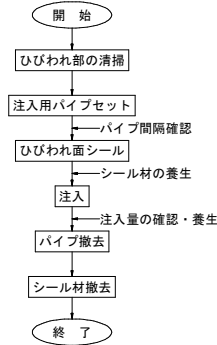
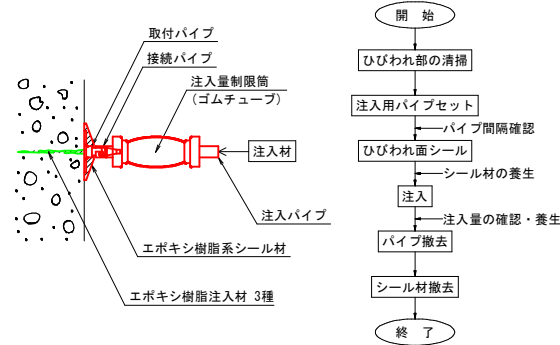
正面図 (終点側)



基礎部



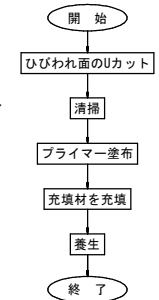
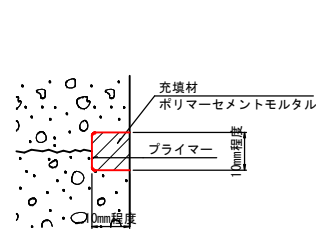
ひびわれ注入工詳細図 (参考)



数量表 (ひびわれ注入工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
P1橋脚 (上り線)		
緑C1	0.30	0.38
緑C2	0.30	0.20
青C1	0.40	0.20
赤C2	0.50	1.81
青C3	0.40	0.19
青C4	0.40	0.25
青C5	0.45	0.25
青C6	0.50	0.25
青C7	0.40	0.25
青C8	0.40	0.21
青C9	0.45	0.18
青C10	0.40	0.18
赤C1	0.60	0.26
赤C2	0.60	0.18
赤C3	0.60	0.25
赤C4	0.80	0.26
合計		1.11

ひびわれUカット充てん工詳細図 (参考)



数量表 (ひびわれ充てん工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
P1橋脚 (上り線)		
茶C1	1.20	0.18
茶C2	2.20	0.18
茶C3	1.50	0.26
茶C4	2.20	0.30
茶C5	1.20	0.28
茶C6	1.50	0.18
合計		0.92

凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
赤C番号	ひび割れ 0.5mm < W ≤ 1.0mm	ひび割れ注入工
茶C番号	ひび割れ 1.0mm < W	ひび割れ充てん工

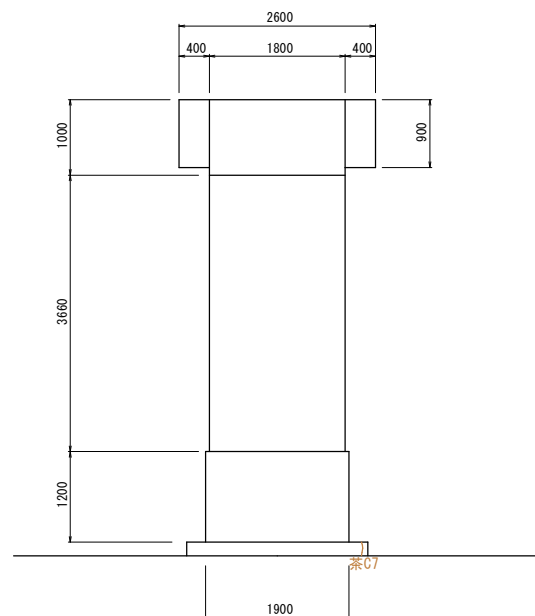
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を現地により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるような養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	20
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

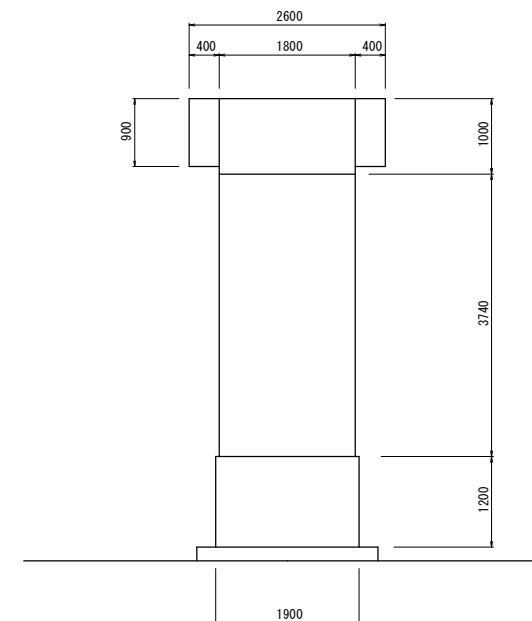
R6 国補正
公共 実施設計

P1橋脚 (下り線)

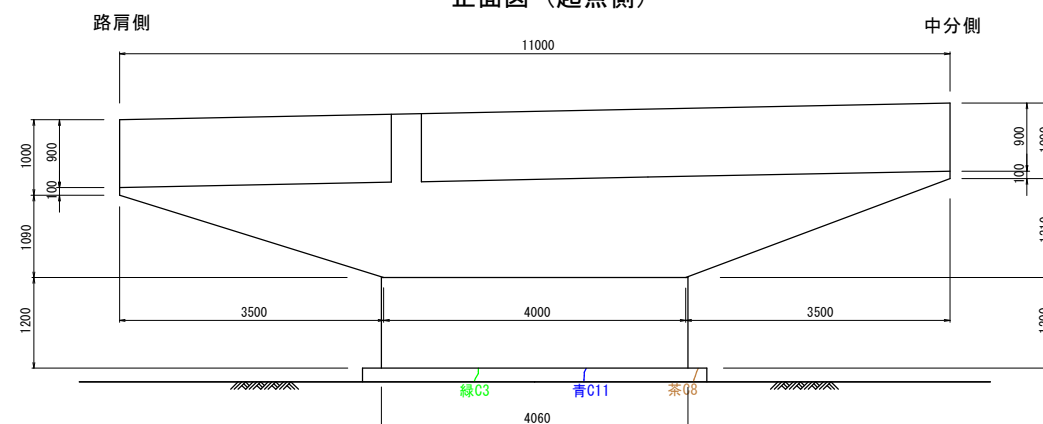
側面展開図 (路肩側)



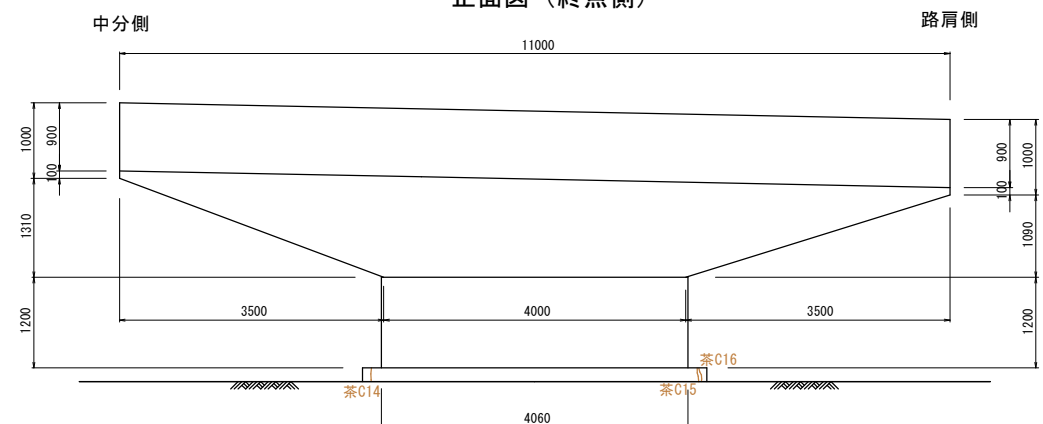
側面展開図 (中分側)



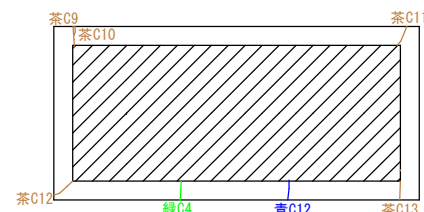
正面図 (起点側)



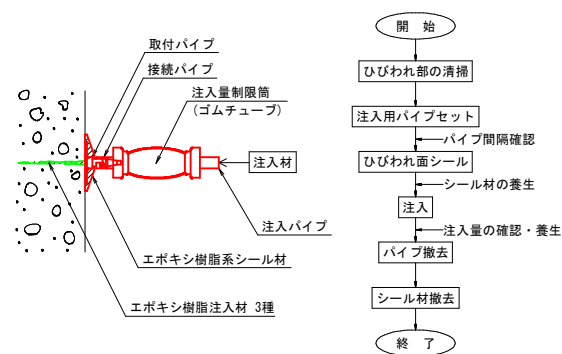
正面図 (終点側)



基礎部



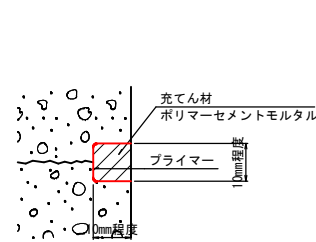
ひびわれ注入工詳細図 (参考)



数量表 (ひび割れ注入工)

P1橋脚 (下り線)		
緑C3	0.30	0.19
緑C4	0.30	0.25
青C11	0.40	0.20
青C12	0.50	0.25
合計		0.00

ひびわれUカット充てん工詳細図 (参考)



数量表 (ひび割れ充てん工)

P1橋脚 (下り線)		
茶C7	4.00	0.18
茶C8	1.10	0.19
茶C9	5.00	0.25
茶C10	5.00	0.12
茶C11	1.50	0.28
茶C12	4.00	0.22
茶C13	1.10	0.25
茶C14	1.50	0.18
茶C15	5.00	0.19
茶C16	5.00	0.19
合計		1.21

凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C 番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C 番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
茶C 番号	ひび割れ 1.0mm < W	ひび割れ充てん工

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確認できるような養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 橋梁補修工事 (2工区) (補助橋補修) (国補正)			
図名	古海1号橋 下部工補修図 (その4)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 21	葉中の内	21
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 国補正
公共 実施設計